

入札説明書

【電子入札システム対応】

令和8年度国立研究開発法人国立環境研究所電気設備の法定点検に伴う仮設電源供給
等業務

令和8年6月

国立研究開発法人国立環境研究所

当研究所の一般競争に係る入札公告（令和8年6月22日付）に基づく入札については、関係法令に定めるもののほか、この入札説明書による。

1. 競争入札に付する事項

- | | |
|-----------|---|
| (1) 件名 | 【電子入札システム対応】令和8年度国立研究開発法人国立環境研究所電気設備の法定点検に伴う仮設電源供給等業務 |
| (2) 契約期間 | 契約締結日から令和9年3月31日まで |
| (3) 仕様 | 仕様書による。 |
| (4) 履行場所 | 仕様書による。 |
| (5) 入札保証金 | 免除 |
| (6) 契約保証金 | 免除 |

2. 競争参加に必要な資格

- (1) 令和7・8・9年度環境省競争参加資格（全省庁統一資格）の「役務の提供等」の「建物管理等各種保守管理」において、「A」、「B」又は「C」の等級に格付けされている者であって、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県又は東京都内に本店、支店又は営業所のいずれかを有する者であること。
- (2) 国立研究開発法人国立環境研究所契約事務取扱細則第5条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者については、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (3) 国立研究開発法人国立環境研究所契約事務取扱細則第6条の規定に該当しない者であること。
- (4) 契約者等から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- (5) 入札説明書において示す暴力団排除等に関する誓約事項に誓約できる者であること。
- (6) 計画停電時における仮設電源供給に関する実務経験を10年以上有し、そのうち国立研究開発法人、大学研究施設における動物研究施設の設備管理に関する実務経験を7年以上有する者であること。なお、これらの実務経験は最終の従事時期から3年以内であること。
- (7) 業務担当者は第二種電気工事士以上の資格を有していること。なお、作業責任者においては低圧電気取扱業務特別教育講習を修了していること。また、屋内電気設備の配線作業に関する実務経験を5年以上有する者を、1班につき1名以上配置すること。

3. 入札心得

- (1) 入札参加者は、仕様書及び添付書類を熟読のうえ、入札しなければならない。
- (2) 入札参加者は、前項の書類について疑義があるときは、関係職員の説明を求めることができる。
- (3) 入札参加者は、入札後、仕様書及び添付書類についての不明等を理由として異議を申し立てることはできない。

4. 電子入札システムの利用

本件調達には電子入札システムで行うため、同システムの電子認証（代表者又はその委任を受けた者のICカードに限る。）を取得していること。

・ <https://www.ebs-cloud.fwd.ne.jp/CALS/Acceptor/index.jsp?name1=06A0064006A00600>

また、同システム使用にあたっては、業者番号が発行されている必要があり、8. (1) ①の提出の際に必要な。業者番号発行の手続きについては、以下 URL の「電子入札システムの導入について」を参照のこと。

・ <https://www.nies.go.jp/about/procurement/e-bidding/index.html>

なお、同システムによりがたい者は、発注者に申し出た場合に限り紙入札方式によることができる。

5. 入札及び開札の日時及び場所

令和8年7月16日（木）11時00分

国立研究開発法人国立環境研究所 研究本館Ⅱ 1階 第1会議室

（茨城県つくば市小野川16-2）

6. 入札説明書等に対する質問

(1) 入札説明書、添付資料等に対する質問がある場合においては、次に従い、質問書を提出すること。

①提出期間：令和8年6月22日（月）から令和8年6月29日（月）16時00分まで。

②提出場所：〒305-8506

茨城県つくば市小野川16-2

国立研究開発法人国立環境研究所 総務部会計課契約第一係

TEL 029-850-2775（担当：濱田）

③提出方法：電子メールによるデータ（指定様式（※））の送付とする（データ送付先：c-hotatsu@nies.go.jp）。なお、メールの件名を【質問の提出（令和8年度国立研究開発法人国立環境研究所電気設備の法定点検に伴う仮設電源供給等業務）（担当：濱田）】とすること。

※当研究所WEBサイトに掲載（本公告掲載先と同一ページ）

(2) (1) の質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供する。

①期 間：令和8年7月3日（金）10時00分から

令和8年7月16日（木）11時00分まで。

②閲覧場所：当研究所WEBサイト（本公告掲載先と同一ページ）

(3) (1) の質問がない場合、(2) については行わないものとする。

7. 入札参加資格証明書類等の提出

入札に参加しようとする者は、本入札説明書2. (1)、(6) 及び(7) の証明書類を次に従い提出すること。

(1) 提出期限：令和8年7月13日（月）16時00分

持参する場合の受付時間は、平日の10時から16時まで（12時から13時を除く）とする。

(2) 書面による提出の場合

ア. 提出方法 持参又は郵送によって提出すること。ただし、郵送する場合には、書留郵便等の配達記録の記録が残るものに限る。

イ. 提出場所 6. (1) ②の場所

ウ. 提出部数 2部（提出書類を綴じ込んだ一式）

(3) 電子による提出の場合

ア. 提出方法 電子ファイル（PDF形式）により、電子メールで送信。メールの件名は【入札参加資格証明書類の提出（令和8年度国立研究開発法人国立環境研究所電気設備の法定点検に伴う仮設電源供給等業務）（担当：濱田）】とすること。

イ. 提出場所 chotatsu@nies.go.jp

(4) 提出された書類による本競争参加の可否については、次の期間までに連絡をする。

①期 間：入札日及び開札の2営業日前17時00分。

8. 入札及び開札

(1) 電子入札の場合

①電子入札システムにより入札をする予定の者については、同システムにより、入札者又は代理人等の電話連絡先（開札時、開札執行員等からの電話を確実に受けられる番号とすること。）が記載された書類をPDF化し添付の上、7. (1) の日時までに提出すること

②5. の日時までに、同システムに定める手続に従って入札を行うこと。通信状況によっては当該期限内に入札情報が到着しない場合があるので、時間的余裕を持って行うこと。

③入札金額については、1. (1) の業務に関する一切の費用を含めた額とする。

④落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に課税対象金額の10%に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その金額を切り捨てるものとする）をもって落札価格とするので、入札参加者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず見積もった契約金額から課税額を除いた

金額を入力するものとする。

- ⑤同システムにより入札した場合には、本入札説明書において示す暴力団排除等に関する誓約事項に誓約したものとして取り扱うこととする。
- ⑥入札者又は代理人等は、開札時刻に同システムの端末の前で待機しなければならない。
- ⑦事由のいかんにかかわらず入札の引換え、変更又は取消しを行うことができない。
- ⑧入札参加者が連合し、又は不穩の行動をなす等の場合において、入札を公正に執行することができないと認められるときは、当該入札参加者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し、若しくは取りやめることがある。

(2) 紙入札の場合

- ①紙入札での参加については、紙入札方式参加届（別紙1）を7.（1）の日時までに6.（1）②の場所へ持参、郵送又は電子メール（chotatsu@nies.go.jp）により提出すること。
- ②入札書（別紙2）には、入札参加者の住所、氏名を記入し、金額の記入はアラビア数字を用いて鮮明に記載すること。なお、郵送による提出の際は入札書に入札回数（第〇回）を記載すること。
- ③入札書及び入札に係る文書に使用する言語は、日本語に限るものとし、また入札金額は、日本国通貨による表示に限るものとする。
- ④入札金額については、1.（1）の業務に関する一切の費用を含めた額とする。
- ⑤落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に課税対象金額の10%に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その金額を切り捨てるものとする）をもって落札価格とするので、入札参加者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず見積もった契約金額から課税額を除いた金額を入札書に記載するものとする。
- ⑥入札書は、別紙の書式により作成し、封かんの上で持参又は郵送により提出するものとする。
- ⑦入札書を持参する場合は、入札書を封かんし、入札参加者の商号又は名称、入札件名及び開札日時を記載し、入札及び開札日に入札箱に投入すること。
- ⑧当面の間郵送による入札書の提出は3通まで認めることとする。入札書を郵送により提出する場合は、二重封筒とし、表封筒に入札書在中の旨を朱書し、中封筒に入札参加者の入札参加者の商号又は名称、入札件名及び開札日時並びに入札回数（〇回目）を記載して書留郵便（配達証明付）により、次に従い郵送すること。
提出期限：入札及び開札の前日（※）16時00分
※土・日曜日、祝祭日及び年末年始（12月29日から1月3日）を除く。
提出場所：本入札説明書6.（1）②と同じ
- ⑨入札参加者は、入札書を提出する際には、本入札説明書2.（1）の競争参加資格を有することを証明する書類を提出すること。
- ⑩入札参加者は、代理人又は復代理人（以下「代理人等」という。）をして入札させるときは、その委任状（別紙3、4）を持参させなければならない。なお、⑧により入札書を郵送する場合も同様とし、入札書を郵送する際に委任状を同封するものとする。
- ⑪入札参加者又はその代理人等は、当該入札に対する他の入札参加者の代理をすることができない。
- ⑫開札は、入札参加者の面前で行う。ただし、入札参加者又はその代理人等が開札場所に出席しないときは、入札執行事務に関係のない職員を立会させて開札する。この場合、異議の申し立てはできない。
- ⑬入札参加者又はその代理人等は、開札時刻後においては、開札場に入場することはできない。
- ⑭提出済の入札書は、その事由のいかんにかかわらず引換え、変更又は取消しを行うことができない。
- ⑮入札参加者が連合し、又は不穩の行動をなす等の場合において、入札を公正に執行することができないと認められるときは、当該入札参加者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し、若しくは取りやめることがある。

9. 入札の無効

次の各号に該当する入札書は無効とする。

- (1) 競争に参加する資格を有しない者の提出した入札書
- (2) 委任状を提出しない代理人等の提出した入札書
- (3) 記名を欠いた入札書
- (4) 入札金額の記載が不明確な入札書
- (5) 入札金額の記載を訂正した入札書
- (6) 誤字、脱字等により意志表示が不明瞭である入札書
- (7) 明らかに連合によると認められる入札書
- (8) 同一事項の入札について、他の入札参加者の代理人等を兼ねた者の入札書
- (9) 同一入札執行回について、入札参加者又はその代理人等が二通以上の入札書を提出した場合
- (10) その他の入札に関する条件に違反した入札書

1 0. 落札の決定

- (1) 本入札説明書 2 の競争参加資格及び仕様書等の要求要件を全て満たし、当該入札書の入札価格が国立研究開発法人国立環境研究所契約事務取扱細則第 1 3 条の規定に基づいて作成された予定価格の範囲内で、最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。
- (2) 落札者となるべき者の入札価格が、当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあるとして設定された基準額を下回った場合は、必要な資料の提出を求め、必要に応じて説明を求めた上で、履行が可能かどうかの調査を行う。その結果、当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められるとき、必要な資料の提出や説明に応じないとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、(1) の各要件を満たす者であって、落札者となるべき者以外で最低の価格をもって入札した者を落札者としてすることがある。

1 1. 再度入札

開札した場合において、入札参加者の入札のうち予定価格の制限に達した価格の入札が無いときは、直ちに再度の入札を行う。なお、以下の事項に留意すること。

- ・再度入札の時刻は入札執行者（弊所職員）が指定する（電子入札による応札を行う場合は特に留意すること）。
- ・再度入札の回数は原則として 2 回を限度とする。ただし、郵便による入札を行い、開札当日に入札参加者又はその代理人等が開札場所に出席しないときは、入札書の提出数以降の再度入札による入札に参加できないため注意すること。

1 2. 低入札価格調査制度の実施

- (1) 本調達は、落札者となるべき者の入札価格が国立環境研究所の規定する基準価格より下回った場合に低入札価格調査を行う。
- (2) 落札者となるべき者の入札価格が、基準価格を下回った場合、開札執行者は入札者に対して「保留」の旨宣言し、落札者は後日決定する旨を告げて開札を終了する。
- (3) その後、国立環境研究所において、入札者からの事情聴取、関係機関への照会等の調査を行う。入札者は、事情聴取及び当所から求められた書類の提出について対応すること。なお、上記調査を実施するにあたって必要な書類としては、下記の提出を求めることとする。
 - ① 当該入札価格で入札した理由書及び当該入札価格の内訳書（積算単価のわかるもの）
 - ② 本業務を実施する際の履行体制
 - ③ 本業務の契約期間中における他の契約請負状況
 - ④ 手持ち機器類その他固定資産の状況
 - ⑤ 国及び地方公共団体等に対する契約の履行状況（過去 2 ヶ年度）
 - ⑥ 最新の財務諸表
 - ⑦ 納税証明書（その 3 の 3）（写し）（3 か月以内に発行されたもの）
- (4) (3) に基づき調査を行った後の結果の通知は以下による。

- ①調査の結果、契約の内容に適合した履行がされると認められた場合には、直ちに（２）の落札者となるべき者に落札した旨を通知するとともに、他の入札者全員に対してその旨を通知する。
- ②調査の結果、契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められ、（２）の落札者となるべき者以外の者が落札者として決定された場合には、当該落札者には落札者となった旨の必要な通知を行い、最低価格入札者には落札者とならなかった理由等を通知する。併せて他の入札者全員に対して落札決定があった旨を通知する。

1 3. 同価格の入札が2人以上ある場合の落札者の決定

- (1) 落札者となるべき同価格の入札をした者が2人以上あるときは、電子入札システムによる電子くじにより落札者を決定する。電子入札システムにより入札を行う場合は、入札時に任意の3桁の数字を入力すること。紙入札による場合は、入札書（別紙2）の記載欄に任意の3桁の数字を記載すること。なお、入力された数字は乱数処理により変換された数字により落札者を決定するため、指定した数字が直接判定に用いられるものではない。
- (2) 前項の場合において、数字の指定を行わない者があるときは、職員が任意の数字を入力する。

1 4. 落札内訳書の提出

- (1) 落札者は、落札者の決定後すみやかに落札額に応じた内訳書を提出すること。なお、内訳書は、可能な限り詳細に記載すること。
- (2) 内訳書の様式は自由とする。
- (3) 内訳書は返却しない。

1 5. 契約書等の提出

- (1) 契約書を作成する場合には、落札者は、契約担当者等から交付された契約書の案に記名押印し、速やかにこれを契約担当者等に提出しなければならない。
- (2) 契約書及び契約に係る文書に使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨による。
- (3) 契約担当者等が契約の相手方とともに契約書に記名押印しなければ、本契約は確定しないものとする。

1 6. その他

(1) 再委託等の制限

落札者は、業務の処理を第三者（再委託等先が乙の子会社（会社法（平成17年法律第86号）第2条第3号に規定する子会社をいう。）である場合も含む。以下同じ。）に委託し又は請け負わせてはならない。但し、再委託等承認申請書（別紙）を書面により申請し、承認を得たときは、この限りではない。

※再委託等の取り扱いについては、仕様書及び「契約における再委託等の取扱いについて」（当研究所HPに掲載）を参照すること。

掲載先：<https://www.nies.go.jp/about/procurement/saiitaku.pdf>

1 7. 契約者の氏名

国立研究開発法人国立環境研究所 理事長 大島 義人

1 8. 入札結果及び契約情報の公表について

① 入札結果の公表

落札者が決定したときは、その入札結果（落札者を含めた入札者全員の商号又は名称及び入札価格）について、開札場において発表するとともに電子入札システム及び入札情報公開システムにおいて公表する予定である。

② 契約情報の公表

契約を締結したときは、後日当該契約情報を当法人のWEBサイトにおいて公表する。

独立行政法人が行う契約については、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針（平成22年12月7日閣議決定）」において、独立行政法人と一定の関係を有する法

人と契約をする場合には、当該法人への再就職の状況、当該法人との間の取引等の状況について、情報を公開する等の取組を進めることとされている。これに基づき、以下のとおり、当法人との関係に係る情報を当法人のWEBサイトで公表することとするので、所要の情報の当法人への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようお願いする。なお、応札若しくは応募又は契約の締結をもって、同意されたものとみなすこととする。

1) 公表の対象となる契約先

次のいずれにも該当する契約先

ア. 当法人において役員を経験した者が再就職をしていること又は課長相当職以上の職を経験した者が役員、顧問等として再就職していること

イ. 当法人との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること

2) 公表する情報

上記に該当する契約先との契約（予定価格が一定の金額を超えない契約や光熱水の支出に係る契約等は対象外）について、契約ごとに、物品・役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。

ア. 前記②1)アに該当する再就職者の人数、職名及び当法人における最終職名

イ. 当法人との間の取引高

ウ. 総売上高又は事業収入に占める当法人との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨

・ 3分の1以上2分の1未満

・ 2分の1以上3分の2未満

・ 3分の2以上

エ. 一者応札又は一者応募である場合はその旨

3) 提供を求める情報

ア. 契約締結時点における前記②1)アに該当する再就職者に係る情報（人数、職名及び当法人における最終職名）

イ. 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当法人との間の取引高

4) 公表の時期

契約締結日の翌日から起算して原則72日以内（4月中に締結した契約については原則93日以内）

19. 電子入札システムの操作及び障害発生時の問合せ先

電子入札システム ポータルサイトアドレス

: <https://www.nies.go.jp/about/procurement/e-bidding/index.html>

ヘルプデスク 0570-021-777（受付時間：平日 9:00～12:00 及び 13:00～17:30）

Email: sys-e-cydeenasphelp.rx@hitachi-systems.com

◎添付資料

- ・別紙 1 紙入札方式参加届
- ・別紙 2 入札書
- ・別紙 3 委任状（代理人用）
- ・別紙 4 委任状（復代理人用）
- ・別紙 5 暴力団排除等に関する誓約事項
- ・（各種規程）国立研究開発法人国立環境研究所契約事務取扱細則（抄）
- ・（参考）紙入札に当たっての留意事項
- ・別添 1 契約書（案）
- ・別添 2 仕様書

(別紙1)

年 月 日

紙入札方式参加届

国立研究開発法人国立環境研究所理事長 殿

住 所
商号又は名称
代 表 者 名

下記入札案件について、紙入札方式での参加をいたします。

件名： 令和8年度国立研究開発法人国立環境研究所電気設備の法定点検に伴う仮設電源供給等業務

担当者等連絡先

部署名 :

担当者名 :

責任者名 :

TEL :

E-mail :

(別紙2)

入札書

金 _____ 円

電子くじに入力する数字（任意の3桁）：

件名 令和8年度国立研究開発法人国立環境研究所電気設備の法定点検に伴う仮設電源供給等業務

上記金額をもって貴所入札説明書承諾のうえ入札します。
御採用のうえは確実に履行いたします。
なお、入札説明書別紙5の暴力団排除等に関する誓約事項に誓約します。

年 月 日

住 所

商号又は名称

代表者名

国立研究開発法人国立環境研究所 理事長 殿

担当者等連絡先

部署名 :

担当者名 :

責任者名 :

TEL :

E-mail :

<記入例>

入札書

金 _____ 円

※仕様書で示す業務内容及び業務契約期間に係る一切の費用を記載（電子入札システムでは入力）すること。

電子くじに入力する数字（任意の3桁）：

件名 令和8年度国立研究開発法人国立環境研究所電気設備の法定点検に伴う仮設電源供給等業務

上記金額をもって貴所入札説明書承諾のうえ入札します。
御採用のうえは確実に履行いたします。
なお、入札説明書別紙5の暴力団排除等に関する誓約事項に誓約します。

××年××月××日

住 所 ○○県○○市○○1-2-3

商号又は名称 株式会社△△△△

代表者名 代表取締役□□□□

< (復) 代理人 ◎ ◎ ◎ ◎ _____ >

※代理人又は復代理人が入札する際は、代表者に代わり
代理人又は復代理人が記名すること

国立研究開発法人国立環境研究所 理事長 殿

担当者等連絡先

部署名 :

担当者名 :

責任者名 :

TEL :

E-mail :

(別紙3)

年 月 日

委任状

国立研究開発法人国立環境研究所 理事長 殿

住 所
商号又は名称
代表者名

今般、私は、 を代理人と定め、令和8年6月22日付け公示された国立研究開発法人国立環境研究所の「令和8年度国立研究開発法人国立環境研究所電気設備の法定点検に伴う仮設電源供給等業務」に関し、下記の権限を委任いたします。

受任者：住 所
商号又は名称
役職・氏名

記

- 本入札に係る一切の権限
1. の事項に係る復代理人を選任すること

担当者等連絡先

部署名 :
担当者名 :
責任者名 :
TEL :
E-mail :

(別紙4)

年 月 日

委任状

国立研究開発法人国立環境研究所 理事長 殿

住 所
商号又は名称
氏 名

今般、私は、 を復代理人と定め、令和8年6月22日付け公示された国立研究開発法人国立環境研究所の「令和8年度国立研究開発法人国立環境研究所電気設備の法定点検に伴う仮設電源供給等業務」に関し、下記の権限を委任いたします。

受任者：住 所
商号又は名称
役職・氏名

記

1. 本入札に係る一切の権限

担当者等連絡先
部署名 :
担当者名 :
責任者名 :
TEL :
E-mail :

(別紙5)

暴力団排除等に関する誓約事項

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、下記事項について、入札書（見積書）の提出をもって誓約いたします。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

また、国立研究開発法人国立環境研究所（以下「貴所」という。）の求めに応じ、当方の役員名簿（有価証券報告書に記載のもの（生年月日を含む。）。ただし、有価証券報告書を作成していない場合は、役職名、氏名及び生年月日の一覧表）及び登記簿謄本の写しを提出すること並びにこれらの提出書類から確認できる範囲での個人情報情報を警察に提供することについて同意します。

記

1. 次のいずれにも該当しません。また、将来においても該当することはありません。
 - (1) 契約の相手方として不適当な者
 - ア 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき
 - イ 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
 - ウ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
 - エ 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき
 - (2) 契約の相手方として不適当な行為をする者
 - ア 暴力的な要求行為を行う者
 - イ 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者
 - ウ 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者
 - エ 偽計又は威力を用いて国立研究開発法人国立環境研究所の業務を妨害する行為を行う者
 - オ その他前各号に準ずる行為を行う者
2. 暴力団関係業者を再委託又は当該業務に関して締結する全ての契約の相手方としません。
3. 再受任者等（再受任者、共同事業実施協力者及び自己、再受任者又は共同事業実施協力者が当該契約に関して締結する全ての契約の相手方をいう。）が暴力団関係業者であることが判明したときは、当該契約を解除するため必要な措置を講じます。
4. 暴力団員等による不当介入を受けた場合、又は再受任者等が暴力団員等による不当介入を受けたことを知った場合は、警察への通報及び捜査上必要な協力を行うとともに、発注元の貴所へ報告を行います。

5. 貴所の規程類及び法令を遵守して不正、不適切な行為に関与せず、また、貴所の職員等から不正行為の依頼等があった場合には拒絶するとともに、その内容を貴所に通報し、さらに内部監査、その他調査等において、取引帳簿の閲覧・提出等の要請に協力します。

(参考) 国立研究開発法人国立環境研究所 規程・規則等

<https://www.nies.go.jp/about/disclosure/kitei/index.html>

(各種規程)

国立研究開発法人国立環境研究所契約事務取扱細則（抄）

第2章 一般競争契約

(一般競争に参加させることができない者)

第5条 契約責任者は、特別の事由がある場合を除くほか、当該契約を締結する能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者を会計規程第34条第1項の規程による一般競争に参加させることができない。

(一般競争に参加させないことができる者)

第6条 契約責任者は、次の各号の一に該当すると認められる者を、その事実があった後2年間一般競争に参加させないことができる。これを代理人、支配人その他の使用人として使用する者についても、また同様とする。

- (1) 契約の履行にあたり、故意に工事若しくは製造を粗雑にし、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をした者
- (2) 公正な競争の執行を妨げた者又は公正な価格を害し若しくは不正な利益を得るために連合した者
- (3) 落札者が契約を結ぶこと又は契約者が契約を履行することを妨げた者
- (4) 監督又は検査の実施に当たり職員の職務の執行を妨げた者
- (5) 正当な理由がなくて契約を履行しなかった者
- (6) 前各号の一に該当する事実があった後2年を経過しない者を、契約の履行に当たり、代理人、支配人その他使用人として使用した者

2 契約責任者は、前項の規定に該当する者を入札代理人として使用する者を一般競争に参加させないことができる。

(予定価格の作成)

第13条 契約責任者は、その競争入札に付する事項の価格を当該事項に関する仕様書、設計書等によって予定し、その予定価格を記載した書面を封書にし、開札の際これを開札場所に置かなければならない。

(参 考)

紙入札に当たっての留意事項

1. 本調達に関する質問回答について
本調達に関する質問回答書は当研究所WEBサイト（本公告掲載先と同一ページ）で閲覧可能である。
2. 入札書について
入札書については、応札者において適当部数コピーの上、記名し用意すること。
なお、代理人をもって入札する場合の記名は、必ず委任状で委任される者のものと同一とする。
3. 委任状について
 - 1) 代理人が応札する場合には必ず委任状を提出すること。
 - 2) 本社（代表者等）から直接委任を受ける場合には、代理人の委任状（別紙3）を、支社等を経由して委任を受ける場合には、支社長等への代理人の委任状（別紙3）と支社長等から復代理人への委任状（別紙4）の両方を用意すること。
4. 資格審査結果通知書の写しを用意すること。
5. 郵送による入札を行う場合においても、資格審査結果通知書の写し等必要書類を提出すること。

(別添1)

契 約 書 (案)

国立研究開発法人国立環境研究所 理事長 大島 義人 (以下「甲」という。) と、 (以下「乙」という。) とは、次の条項により契約を締結する。

1. 件 名 令和8年度国立研究開発法人国立環境研究所電気設備の法定点検に伴う仮設電源供給等業務
2. 契約金額 総額 金 円 (うち消費税額及び地方消費税額 円)
3. 契約期間 自 契約締結日 至 令和9年3月31日
4. 契約保証金 免除
5. 契約履行の場所及び業務内容 別添仕様書のとおり

(信義誠実の原則)

第1条 甲乙両者は、信義を重んじ誠実に本契約を履行しなければならない。

(権利義務の譲渡等)

第2条 乙は、本契約によって生じる権利又は義務の全部若しくは一部を、甲の承諾を得た場合を除き第三者に譲渡し、又は承継させてはならない。ただし、信用保証協会及び中小企業信用保険法施行令 (昭和25年政令第350号) 第1条の3に規定する金融機関に対して売掛債権を譲渡する場合にあっては、この限りでない。

(義務の履行)

第3条 乙は、別添仕様書に基づき、頭書の金額をもって頭書の期間中に義務を完全に履行しなければならない。

(再委託等の禁止)

第4条 乙は、業務の処理を第三者 (再委託等先が乙の子会社 (会社法 (平成17年法律第86号) 第2条第3号に規定する子会社をいう。) である場合も含む。以下同じ。) に委託し又は請け負わせてはならない。但し、再委託等承認申請書 (別紙) を甲に提出し、甲の承認を得たときは、この限りではない。

(監督職員)

- 第5条 甲は、乙の業務実施について、自己に代って監督又は指示する監督職員を選定することができる。
- 2 監督職員は、本契約書及び仕様書に定められた事項の範囲内において業務の施行に立会い、又は必要な指示を与えることができる。

(業務の報告等)

第6条 甲は、必要と認めるときは、乙に対して業務の実施状況について報告を受け、又は説明を求める等の措置をとることができる。

2 乙は、甲が前項の報告を依頼し、又は書類の提出を求めたときはすみやかにこれに応じるものとする。

(業務内容の変更)

第7条 甲は、必要がある場合には、業務の内容を変更することができる。この場合において、契約金額又は契約期間を変更するときは、甲乙協議して書面によりこれを定めるものとする。

(契約の解除)

第8条 甲は、次の各号の一に該当するときは、催告することなくこの契約の全部又は一部を解除することができる。

一 乙の責に帰する事由により、乙がこの契約の全部又は一部を履行する見込みがないと認められるとき。

二 乙が第4条、第17条又は第18条の規定に違反したとき。

三 乙又はその使用人が甲の行う監督及び検査に際し不正行為を行い、又は監督者等の職務の執行を妨げたとき。

四 履行期限内に成果品の提出がなかったとき。

2 甲は、乙が次の各号の一に該当すると認められるときは、催告することなくこの契約を解除することができる。

一 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき

二 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき

三 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき

四 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき

五 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

3 甲は、乙が自ら又は第三者を利用して次の各号の一に該当する行為をした場合は、催告することなくこの契約を解除することができる。

一 暴力的な要求行為

二 法的な責任を超えた不当な要求行為

三 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為

四 偽計又は威力を用いて甲等の業務を妨害する行為

五 その他前各号に準ずる行為

4 甲は、前三項の規定により、この契約の全部又は一部を解除した場合は、既に乙に支払った契約金額の全部又は一部を乙に返還させることができる。

(再受任者等に関する契約解除)

第9条 乙は、契約後に再受任者等（再受任者、及び乙又は再受任者が当該契約に関して個別に契約する場合の当該契約の相手方をいう。以下同じ。）が第8条第2項及び第3項の一に

該当する者（以下「解除対象者」という。）であることが判明したときは、直ちに当該再受任者等との契約を解除し、又は再受任者等に対し契約を解除させるようにしなければならない。

- 2 甲は、乙が再受任者等が解除対象者であることを知りながら契約し、若しくは再受任者等の契約を承認したとき、又は正当な理由がないのに前項の規定に反して当該再受任者等との契約を解除せず、若しくは再受任者等に対し契約を解除させるための措置を講じないときは、催告することなくこの契約を解除することができる。

（違約金）

第 10 条 次に掲げる場合のいずれかに該当したときは、乙は、甲の請求に基づき、契約金額の 100分の10に相当する金額を違約金として甲の指定する期間内に支払わなければならない。

- 一 甲が第8条又は第9条第2項の規定により契約の全部又は一部を解除したとき。
 - 二 乙について破産手続開始の決定があった場合において、破産法（平成16年法律第75号）の規定により選任された破産管財人が契約を解除したとき。
 - 三 乙について更生手続開始の決定があった場合において、会社更生法（平成14年法律第154号）の規定により選任された管財人が契約を解除したとき。
 - 四 乙について再生手続開始の決定があった場合において、民事再生法（平成11年法律第225号）の規定により選任された再生債務者等が契約を解除したとき。
 - 五 この契約に関し、乙が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号。以下「独占禁止法」という。）第3条の規定に違反し、又は乙が構成事業者である事業者団体が独占禁止法第8条第1号の規定に違反したことにより、公正取引委員会が乙に対し、独占禁止法第7条の2第1項（独占禁止法第8条の3において準用する場合を含む。）の規定に基づく課徴金の納付命令（以下「納付命令」という。）を行い、当該納付命令が確定したとき（確定した当該納付命令が独占禁止法第63条第2項の規定により取り消された場合を含む。）。
 - 六 この契約に関し、乙が独占禁止法第3条の規定に違反し、又は乙が構成事業者である事業者団体が独占禁止法第8条第1号の規定に違反したことにより、公正取引委員会が乙又は当該事業者団体（以下「乙等」という。）に対し、独占禁止法第7条若しくは第8条の2の規定に基づく排除措置命令（以下「排除措置命令」という。）を行い、当該排除措置命令が確定したとき。
 - 七 この契約以外の乙の取引行為に関して、乙が独占禁止法第3条の規定に違反し、又は乙が構成事業者である事業者団体が独占禁止法第8条第1号の規定に違反したことにより、公正取引委員会が、乙等に対し、納付命令又は排除措置命令を行い、これらの命令が確定した場合において、これらの命令に乙等に独占禁止法第3条又は第8条第1号の規定に違反する行為があったとされた期間及び当該違反する行為の対象となった取引分野が示され、この契約が、当該期間（これらの命令に係る事件について、公正取引委員会が乙等に対し納付命令を行い、これが確定したときは、当該納付命令における課徴金の計算の基礎である当該違反する行為の実行期間を除く。）に入札（見積書の提出を含む。）が行われたものであり、かつ、当該取引分野に該当するものであるとき。
 - 八 この契約に関し、乙（法人にあっては、その役員又は使用人を含む。）の刑法（明治40年法律第45号）第96条の6又は独占禁止法第89条第1項若しくは第95条第1項第1号に規定する刑が確定したとき。
- 2 前項の規定は、甲に生じた実際の損害の額が違約金の額を超える場合において、甲がその超える分の損害を損害金として請求することを妨げない。

(報告)

第 11 条 乙は、作業終了後すみやかに甲に作業終了の報告をしなければならない。

(検査)

第 12 条 甲は、前条の報告があったときは、当該届出を受理した日から 10 日以内に検査を行わなければならない。

(契約金の支払)

第 13 条 甲は、前条に定める検査に合格した後、乙から適法な請求書を受領した日から 60 日以内に契約金を支払うものとする。

(損害賠償)

第 14 条 甲は、第 8 条又は第 9 条第 2 項の規定によりこの契約を解除した場合は、これにより乙に生じた損害について、何ら賠償ないし補償することは要しない。

(担保責任)

第 15 条 甲は、乙が本契約履行後に提出した成果品について 1 年以内に契約の内容に適合しないものであることを発見したときは、契約不適合である旨を乙に通知し、修補又は既に支払った契約金額の一部を返還させることができるものとする。

(延滞金)

第 16 条 乙は、第 8 条第 4 項の規定による契約金額の返還又は第 10 条の規定による違約金等の支払いを甲の指定する期間内に行わないときは、当該期間を経過した日から支払いをする日までの日数に応じ、民法（明治 29 年法律第 89 号）第 404 条で定める法定利率で計算した額の延滞金を甲に支払わなければならない。

(守秘義務)

第 17 条 甲及び乙は、この契約の履行に際し、知り得た相手方の秘密を第三者に漏らし、又は利用してはならない。

(個人情報の取扱い)

- 第 18 条 乙は、甲から預託を受けた個人情報（生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述又は個人別に付された番号、記号その他の符号により当該個人を識別できるもの（当該情報のみでは識別できないが、他の情報と容易に照会することができ、それにより当該個人を識別できるものを含む。）をいう。以下同じ。）について、善良な管理者の注意をもって取扱う義務を負わなければならない。
- 2 乙は次の各号に掲げる行為をしてはならない。ただし、事前に甲の承認を受けた場合は、この限りではない。
- (1) 甲から預託を受けた個人情報を第三者（再委託等する場合における再委託等先を含む。）に預託若しくは提供又はその内容を知らせること。
 - (2) 甲から預託を受けた個人情報を本契約の目的の範囲を超えて使用、複製、又は改変すること。
- 3 乙は、甲から預託を受けた個人情報の漏洩、滅失、毀損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。
- 4 乙は、甲から預託を受けた個人情報について、作業終了、又は解除をした後に速やかに甲にその媒体を返還するとともに、乙が保存している当該個人情報について、復元不可能

な状態に消去し、その旨を甲に通知しなければならない。ただし、甲が別に指示したときは、その指示によるものとする。

- 5 乙は、預託を受けた個人情報の取扱いに係る業務を第三者に再委託等してはならない。ただし、事前に甲に対して、再委託等業務の内容、再委託等先の詳細等甲が要求する事項を書面により通知し、甲の承認を得た場合は、この限りではない。
- 6 乙は、前項のただし書に基づく再委託等を行う場合において、再委託等先に対して本条に規定する措置及び義務を遵守させるため、必要な措置をとらなければならない。また、第7項に規定する検査について、預託する個人情報等の秘匿性等その内容やその量等に応じて甲が必要と認めるときは、甲所属の職員又は甲の指定する職員若しくは乙が実施する。
- 7 甲は、預託する個人情報等の秘匿性等その内容やその量等に応じて必要があると認めるときは、甲所属の職員又は甲の指定する者に乙の事務所又はその他の業務実施場所等において、甲が預託した個人情報の管理体制、実施体制及び管理状況について検査をさせ、乙に対して必要な指示をすることができる。
- 8 乙は、甲から預託を受けた個人情報について漏洩、滅失、毀損、その他本条にかかる違反等が発生した場合、又はそのおそれが生じた場合には、適切な措置を講じるとともに、甲にその旨を通知して、必要な対応策を甲と協議する。
- 9 乙は、自らの故意又は過失により生じた前項の事故により、甲に損害が生じた場合には、その賠償の責めに任ずるものとする。
- 10 第1項及び第2項の規定については、作業終了、又は解除をした後であっても効力を有するものとする。

(本契約に関する疑義の決定)

第19条 この契約書に規定がない事項及び疑義のあるときは、甲乙協議のうえ定めるものとする。

この契約の締結を証するため、本契約書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各1通を保有するものとする。

令和 年 月 日

甲 茨城県つくば市小野川16-2
国立研究開発法人国立環境研究所
理事長 大島 義人

乙

(別紙)

再委託等承認申請書

年 月 日

国立研究開発法人国立環境研究所
理事長 大島 義人 殿

住 所
会 社 名
代表者氏名

本件業務の実施に当たり、下記により業務の一部を再委託等したく、本件契約書第4条の規定に基づき承認を求めます。

記

- 1 業務名：
- 2 契約金額： 円（税込み）
- 3 再委託等を行う業務の範囲：
- 4 再委託等を行う業務に係る経費： 円（税込み）
- 5 再委託等を必要とする理由：
- 6 再委託等を行う相手方の商号又は名称及び住所：
- 7 再委託等を行う相手方を選定した理由：

以上

担当者等連絡先

部署名：
担当者名：
責任者名：
TEL：
E-mail：

仕様書

- 1 件 名 令和8年度国立研究開発法人国立環境研究所
電気設備の法定点検に伴う仮設電源供給等業務
- 2 業務契約期間 契約締結日～令和9年3月31日
- 3 業務実施場所 国立研究開発法人国立環境研究所（以下「NIES」という。）「本部」及び「水環境保全再生研究ステーション」において行うものとする。
- 4 目的
本業務は、毎年度実施する電気設備の法定点検に伴う計画停電時における仮設電源供給業務及び関連作業の実施に関し、必要な事項を定めることを目的とする。
- 5 適用範囲
本仕様書は、請負者が実施する仮設電源供給業務、仮設配線施工、発電機の調達・設置・運転管理、ドライアイスの調達・配布、仮設電源供給時及び復電後の仮設電源要求機器等の動作確認等に適用する。
- 6 関係者（差配）
本業務の実施に当たり、請負者はNIES担当者、電気主任技術者及び電気設備運転管理業務請負者等の関係者と十分に連携し、その指示に従い業務を実施するものとする。
- 7 業務請負者の条件
本業務請負者は下記の条件を満たせる者であること。
 - 1) 計画停電時における仮設電源供給に関する実務経験を10年以上有し、そのうち国立研究開発法人、大学研究施設における動物研究施設の設備管理に関する実務経験を7年以上有する者であること。なお、これらの実務経験は最終の従事時期から3年以内であること。
 - 2) 業務担当者は第二種電気工事士以上の資格を有していること。なお、作業責任者においては低圧電気取扱業務特別教育講習を修了していること。また、屋内電気設備の配線作業に関する実務経験を5年以上有する者を、1班につき1名以上配置すること。
 - 3) 仮設発電機及びドライアイスの手配を滞りなく行えること。
 - 4) 仮設電源要求機器等に不具合が発生した場合、仮設電源要求者への説明や対処を滞りなく行えること。

なお、本業務は研究試料、飼育設備、分析装置等の継続運転維持を目的とするものであり、停電対応の不備は研究活動へ重大な影響を及ぼす可能性があることから、上記に示す高度な技術力及び十分な実務経験を有する者により、実施されなければならない。
- 8 日程及び業務計画
 - 1) 定期点検日程

電気設備の定期点検は、別紙1「令和8年度受変電設備定期点検日程表」に基づき実施するものとし、詳細はNIES担当者の確認を受けるものとする。

- 2) 業務計画書の作成
請負者は、作業日程表・工程表、業務体制図、作業要領等、再委託先一覧、作業員名簿、業務を行う者が有する資格等、業務を適正に実施するために必要な事項を記載した業務計画書を8月中旬までにNIES担当者に提出し、承諾を得ること。

9 仮設電源及びドライアイスの要求仕様

1) 想定される要求仕様

仮設電源及びドライアイスに係る参考資料として、昨年度実績を基に作成した以下資料を想定する。

- ・ 別紙2 「仮設電源要求箇所一覧（想定）」
- ・ 別紙3 「グループ別 仮設電源要求箇所一覧（想定）」
- ・ 別紙4 「ドライアイス申込一覧（想定）」
- ・ 別紙5 「グループ別 ドライアイス申込一覧（想定）」
- ・ 別紙6 「仮設発電機一覧（想定）」
- ・ 別紙7 「仮設発電機配置図（例）」
- ・ 別紙8 「仮設機器平面図（想定）」

2) 本年度の要求仕様

本年度の仮設電源及びドライアイスの要求仕様については、NIES担当者が7月末まで要求受付を行う。請負者はその要求仕様に基づいて、「仮設電源要求箇所一覧」、「グループ別 仮設電源要求箇所一覧」、「ドライアイス申込一覧」、「グループ別 ドライアイス申込一覧」、「仮設発電機一覧」、「仮設発電機配置図」、「仮設機器平面図」等の資料を作成するものとする。

10 仮設電源配線施工

1) 仮設配線の施工

「仮設電源要求箇所一覧」に基づき、NIES担当者との協議のうえ、停電日時に研究機器等へ仮設電源を供給するために必要な仮設配線を立案し、施工するものとする。なお、仮設配線の施工に当たっては、供給対象機器の設置場所、要求容量、配線経路、安全性及び作業性等を十分考慮するものとする。仮設配線資材の保管場所については、事前にNIES担当者を確認すること。

2) 対象機器の明示と状態確認

仮設電源を必要とする機器については、事前に現地調査及び要求者との協議を行い、「仮設電源供給」であることを表示札等で明示するものとする。その際に機器の状態確認を併せて行うこと。また、計画停電日の約1週間前にも再度状態確認を行うこと。状態確認によっても、仮設電源の供給が不適切な機器や不要と判断されるものは、要求者に使用状況の確認を行い、NIES担当者に報告するものとする。なお、現地調査の際にNIES担当者の立ち会いが必要な場合は、申し出によりNIES担当者は対応するものとする。

3) 想定人工（電工）

「NIES本部」

・ グループ1 停電に伴う仮設電源	
仮設配線敷設及び撤去作業	118.10 人工
電源切替及び巡回点検	58.60 人工
・ グループ2 停電に伴う仮設電源	
仮設配線敷設及び撤去作業	12.00 人工
電源切替及び巡回点検	6.00 人工
・ グループ3 停電に伴う仮設電源	
仮設配線敷設及び撤去作業	9.50 人工
電源切替及び巡回点検	6.00 人工

・ グループ4 停電に伴う仮設電源 仮設配線敷設及び巡回撤去作業	18.50 人工 9.50 人工
・ グループ5 停電に伴う仮設電源 仮設配線敷設及び巡回撤去作業	24.50 人工 11.00 人工
・ グループ6 停電に伴う仮設電源 仮設配線敷設及び巡回撤去作業	15.10 人工 9.60 人工

「水環境保全再生研究ステーション」

・ 水環境保全再生研究ステーション 仮設配線敷設及び巡回撤去作業	6.00 人工 3.00 人工
-------------------------------------	--------------------

- 4) 仮設ケーブルの敷設
 - ・ 仮設ケーブルの敷設は、安全確保のため原則として2名以上による1班体制で実施するものとする。なお、班数については特に制限しない。
 - ・ 仮設ケーブルの容量は、要求容量を下回らないものを使用するものとする。
 - ・ 敷設に際しては、対地間及び線間の絶縁抵抗測定を行い、その結果を記録するものとする。
 - ・ 通路を横断する箇所や壁・窓・扉などを通す箇所には、ケーブルを保護するために簡易的な養生を施すこと。
- 5) ケーブルの状態確認
亀裂、損傷その他不良が認められるケーブルは交換するものとし、その資材費用はN I E Sの負担とする。
- 6) 接続箇所の確認
接続箇所同士が重ならないよう敷設し、不良箇所を確認した場合は、増締めまたは絶縁テープの再処理等、必要な処置を講ずるものとする。
- 7) 仮設ブレーカ
仮設発電機に接続するケーブルに適合した主ブレーカを設置すること。動作等に不良が認められるものは交換するものとし、その資材費用はN I E Sの負担とする。
- 8) 仮設電源の配線準備は、計画停電日の前日までには完了させておくこと。

1 1 仮設電源用発電機

- 1) 発電機の調達
請負者は「仮設電源要求箇所一覧」に基づき、計画停電日時に研究機器等へ仮設電源を供給するために必要な発電機を調達するものとする。なお、発電機の出力容量は必要最小限とし、調達の関係上などで必要以上となった場合でもN I E Sは超過分の費用は負担しない。
- 2) 発電機配置図の作成（別紙7の仮設発電機配置図（例）参照）
請負者は、発電機の排気ガスによる影響や通行の妨げが生じないように十分に配慮するとともに、仮設配線の建物内への引き込み経路等を考慮したうえで、仮設発電機の配置計画を立案するものとする。また、その配置図を事前に作成し、N I E S担当者の確認を受けなければならない。なお、配置図はJW-CADもしくはDXFで作成し、そのデータをN I E S担当者に提出すること。
- 3) 搬入・設置
・ 発電機の搬入、設置、燃料補充及び試運転等は計画停電日の前日までに完了するものとする。試運転は1台あたり15分程度行うこと。なお、搬入・設置については、所員の

出勤や退勤などの影響とならない早朝や夜間などの時間帯に行うこと。

・搬入時に点検及び試運転を行い、不具合が認められた場合は発電機を交換するものとする。

・全館停電日においては、以下に指定の予備発電機を前日までに準備するものとする。

グループ1（全館停電日） 予備用 100kVA 1台
予備用 150kVA 1台

・各定期点検日には、最大容量と同等の予備発電機を前日までに準備するものとする。なお、エコチル試料保存棟の発電機容量は150kVAとする。

グループ2～6 予備用 各1台
水環境保全再生研究ステーション 予備用 1台

・予備用発電機の仕様は、単相3線100V/200V、三相3線200Vのどちらにも設定可能なものとする。

・計画停電日に故障等が発生した場合は、速やかに予備発電機へ交換し、併せてNIES担当者へ報告するものとする。なお、速やかに交換できるように事前に対策を検討しておくこと。

4) 運転・管理
計画停電日は、発電機の運転状態及び燃料消費状況を点検し、良好な状態を維持するものとする。

5) 撤去・搬出
計画停電日以降、可能な限り速やかに撤去及び搬出を行うものとする。なお、撤去・搬出については、所員の出勤や退勤などの影響とならない早朝や夜間などの時間帯に行うこと。

1.2 常設発電機
下記の建物には常設発電機が設置されていて、計画停電時には常設発電機の運転状態及び燃料消費状況を点検・記録して、良好な状態を維持するものとする。

1) エコチル試料保存棟
この常設発電機は、停電時に自動起動・自動電源切替、復電時に自動電源切替・自動停止となる機能を装備している。

2) 環境生物保存棟、環境試料タイムカプセル棟
この常設発電機は、停電時及び復電時に手動にて運転・停止及び電源切替を行うものとする。

1.3 計画停電日当日の業務
1) 仮設電源対象設備については、下記のとおり正常動作を確認するものとする。仮設電源供給中及び商用電源への復帰後は正常動作を確認するものとする。

・なお、不具合が確認された場合は、速やかにNIES担当者へ報告するものとする。

・仮設電源の供給中：午前中2回以上、午後1回以上
・商用電源への復帰後：復帰時1回、30分程度経過時1回

2) 工程の概要について

「NIES本部」

・停電予定時間

9:00～17:00（予定） 状況により前後することがある

・商用電源から仮設電源への切替

8:30までに切替を完了すること（厳守）

点検本部の責任者に切替完了の報告を行うこと

・ミーティング（進捗状況等の確認）

13:00～13:15 業務責任者はミーティングに出席すること

・ミーティング（復電時間等の確認）

15:00～15:15 業務責任者はミーティングに出席すること

- ・ 仮設電源から商用電源への切替
17:00（予定） 復電が確認され、切替の指示がでてから作業開始
- ・ 切替作業後、残置箇所以外の仮設配線を撤去

「水環境保全再生研究ステーション」

- ・ 停電予定時間
9:00～15:00（予定） 状況により前後することがある
- ・ 商用電源から仮設電源への切替
8:30 までに切替を完了すること（厳守）
電気主任技術者に切替完了の報告を行うこと
- ・ 必要に応じて、電気主任技術者と進捗状況や復電時間等の確認を行うこと。
- ・ 仮設電源から商用電源への切替
15:00（予定） 復電が確認され、切替の指示がでてから作業開始
- ・ 切替作業後、仮設配線を撤去

1 4 仮設電源配線の撤去

計画停電日以降、可能な限り速やかに撤去及び搬出を行うものとする。ただし、全館停電日後も部分停電で使用する箇所については、次回までの期間が長期とされないことや通行に支障がない場所などの条件に限り、次回の計画停電日まで残置することができるものとする。

1 5 ドライアイスの調達及び配布

1) 調達及び配布

- ・ 「ドライアイス申込一覧」に基づき、研究試料保存のためのドライアイスを調達し、計画停電日の前日に要求者へ配布するものとする。なお、配布時間は15時頃に行うものとする。
- ・ 調達数量はNIES担当者と確認し、納品書等の実績書類を提出するものとする。

2) 想定数量

「NIES本部」

- ・ ブロック形状（1kg/個） 2,622kg
- ・ フレーク形状（10kg/袋） 40kg

「水環境保全再生研究ステーション」

- ・ ブロック形状（1kg/個） 30kg
- ・ フレーク形状（10kg/袋） 20kg

1 6 注意事項

- ・ 作業細則を作成し、NIES担当者、電気主任技術者及び電気設備運転管理業務請負者等の関係者と事前に協議や打合せ等を行い本業務を円滑に実施すること。
- ・ 仮設電源及び商用電源への切替作業は、原則として本請負者が実施する。ただし、仮設電源の要求者が自ら切替作業の実施を希望する場合は、この限りではない。
なお、研究第1棟（情報棟）・地球温暖化研究棟増築部・生態系実験施設の設備については、要求者自らによる切替作業に関する注意点があるため、事前に要求者と綿密な打合せを行い、支障なく切替作業を行うものとする。
- ・ 仮設電源及び商用電源への切替手順を誤ったり、仮設電源の電圧・周波数・相回転などの誤りにより接続機器を破損・焼損させた場合は、請負者が責任を負うものとする。
- ・ 仮設配線等の資材はNIESが支給とするものとし、消耗品以外の資材については破損のないよう取り扱うものとする。
- ・ 研究の進捗状況などで要求内容が直前に取り下げられたり変更されることがあるが、柔軟に対応すること。

17 報告書

請負者は、業務契約期間終了時まで以下の報告書をNIES担当者へ提出するものとする。

- ・業務結果報告書 1部
(仮設電源供給箇所一覧、仮設発電機一覧、ドライアイス納品一覧、協議記録、業務写真、ドライアイス調達実績書類等含む)

報告書の仕様は、契約締結時における国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)第6条第1項の規定に基づき定められた環境物品等の調達の推進に関する基本方針(以下「基本方針」という。)の「印刷」の判断基準を満たすものとする。

ただし、当該「判断の基準」を満たすことが困難な場合には、NIES担当者の了承を得た場合に限り、代替品による納品を認める。

なお、印刷物にリサイクル適性を表示する必要がある場合は、以下の表示例を参考に、裏表紙等に表示するものとする。

リサイクル適性の表示：紙へリサイクル可

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。

なお、リサイクル適性が上記と異なる場合はNIES担当者と協議のうえ、基本方針(<https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/index.html>)を参考に適切な表示を行うこと。

18 検査

業務終了後、10日以内にNIES担当者立会いによる本仕様書に基づく検査を実施し、合格しなければならない。

19 協議

- ・本業務に関し疑義が生じたときは、速やかにNIES担当者と協議のうえ、その指示に従うものとする。
- ・仮設電源及びドライアイスの要望は変動する可能性があるため、必要に応じて契約変更を行うものとする。
年度末に内容が確定した後、変更契約を締結するものとする。

20 その他

- ・請負者は、本業務実施に係る活動において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)を推進するよう努めるとともに、物品の納入等に際しては、基本方針で定められた自動車を利用するよう努めるものとする。
- ・仮設は任意仮設とする。
- ・発生材は関係法令に基づき適切に処理するものとする。
- ・安全管理に十分留意するものとする。

全館停電日	部分停電日	グループ	建物番号	施設名		備考
10月17日(土)		1	3	共通設備棟	(共通設備棟 I期)	
					(共通設備棟 II期)	
			5	ポンプ棟		
			17	動物実験棟 I		
			22	中動物棟		
			69	ナノ粒子健康影響実験棟		
			12	生物環境調節実験施設(バイオトロン)		
			20	水環境実験施設(アクアトロン)		
			46	環境放射線研究施設(旧アクア・フリースペース)		
			35	大気モニター棟		
11月7日(土)		2	6	電気室・分析室	(処理センター1)	
			33	RI・遺伝子工学実験棟	ラジオアイソトープ棟	
			57		遺伝子工学実験棟	
			39	管理分析棟		
			40	一般実験排水処理施設棟		
			68	震災放射線影響実験棟(旧鳥飼育舎)		
			31	土壌環境実験棟		
45	動物実験棟 II					
11月21日(土)		3	1	研究本館 I	研究第1棟	
					厚生棟	
					管理棟	
					情報棟	
					計測棟	
			61	地球温暖化研究棟		
62	地球温暖化研究棟(増築部)					
74	GOSAT-2 電算機・執務棟					
12月5日(土)		4	3	共通設備棟	旧NAS電池室	
			50	生態系実験施設(エコトロン)	環境保健研究棟	
			21	水質水理実験棟		
			38	生態系研究フィールド管理棟(生態系野外施設管理棟)		
			70	エコフィールドデポ倉庫		
53	環境生物保存棟(1)					
64	環境生物保存棟(2)					
1月16日(土)		5	23	研究本館 I	研究第2棟	
			4	ワークショップ		
			44	研究本館 II	共同利用棟	
					51	
60	環境リスク研究棟					
2月6日(土)		6	58	研究本館 III		
			18	大気化学実験棟		
			24	車庫棟		
			25	守衛所		
			41	大気汚染質実験棟		
			54	大気共同実験棟		
			73	液体窒素保管庫		
			75	エコチル試料保存棟		
			63	循環・廃棄物研究棟		
			67	環境試料タイムカプセル棟		
71	野生動物検疫施設					
10月30日(金)		—	臨湖	水環境保全再生研究ステーション		

仮設電源要求箇所一覧（想定）

※ 本部は、グループ停電日に該当するものの対応となります。

整番	施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
						(V)	(W)	
1	研究第2棟	3	315	冷凍庫	日本フリーザー・GS5210HC	100	140	番号:1
2	研究第2棟	3	315	冷凍庫	日本フリーザー・GS5210HC	100	140	番号:2
3	研究第2棟	3	315	冷凍庫	日本フリーザー・GS5210HC	100	140	番号:3
4	研究第2棟	3	315	冷凍庫	パナソニック・MDF-237-PJ	100	120	番号:4
5	研究第2棟	3	315	冷蔵庫	日本フリーザー・UKS550HC	100	100	番号:5
6	研究第2棟	3	315	冷蔵庫	パナソニック・NR-B253T	100	139	番号:6
7	研究第1棟	2	205	冷凍冷蔵庫	日立 R-S38RPAM	100	310	
8	研究第1棟	2	205	薬品庫		100		
9	研究本館Ⅲ	2	282	冷凍庫	パナソニックKM-DU73Y1J	三相200	660	①
10	研究本館Ⅲ	2		冷凍庫	パナソニックKM-DU73Y1J	三相200	660	②
11	研究本館Ⅲ	2	281	冷蔵庫	東芝 GR-A15AI	100	112	③
12	研究第1棟	1	-	各種NW機器	NW2007分電盤	単相200	50,000	
13	研究第1棟	1	-	エアコン2台	ダイキン・SZHP160KB	三相200	15,000	
14	地球温暖化研究棟増築部	1		各種NW機器新NW用分電盤		200	40KVA	
15	地球温暖化研究棟増築部	1		各種NW機器新NW用分電盤		100	1125VA	
16	地球温暖化研究棟増築部	1		エアコン 2台		三相200		アイルキャビン内空調
17	環境リスク研究棟	4	408	ディープフリーザー	日本フリーザー・VT-208HC	100	420	
18	循環・廃棄物研究棟	2	293	超低温フリーザ	PHcbi/MDF-C8V1	100	420	
19	大気共同実験棟	1	-	小型ライダー	L2S-SMⅡ	100	2,000	100Vコンセント 2個
20	研究第2棟	1	125	-20℃冷凍庫 バイオメディカルフリーザー	PHCbI MDF-U339	100	180	-20℃冷凍庫 配置図①
21	研究第2棟	1	125	4℃冷蔵庫 薬品保冷库	Fukushima・FMS-504G	100	220	4℃冷蔵庫 配置図②
22	研究第2棟	1	125	-20℃冷凍庫 バイオフリーザー	日本フリーザー・GS-1356HC	100	90	-20℃冷凍庫 配置図③
23	研究第2棟	1	125	-80℃冷凍庫 小型超低温槽	PHCbI MDF-DC202VH	100	410	-80℃冷凍庫 配置図④
24	研究第1棟	3	304	-20℃冷凍庫 バイオメディカルフリー	PHC株式会社・MDF-MU339H-PJ	100	100	-20℃冷凍庫 配置図①
25	研究第1棟	3	304	4℃冷蔵庫 薬用保冷库	フクシマガリレイ・FMS-304GU	100	163	4℃冷蔵庫 配置図②
26	研究第1棟	3	304	-80℃冷凍庫 超低温フリーザー	PHC株式会社・MDF-C8V1-PJ	100	450	-80℃冷凍庫 配置図③
27	研究第1棟	3	304	-20℃冷凍庫 冷凍庫	AQUA AQF-10CN(W)	100	61	-20℃冷凍庫 配置図④
28	研究第1棟	3	304	4℃冷蔵庫 薬用保冷库	MPR-N200SH	100	245	4℃冷蔵庫 配置図⑤
29	土壌環境実験棟	1	102	冷凍庫	日本フリーザー・MF-500HC	100	360	
30	土壌環境実験棟	2	-	冷凍庫 3台	PHcbi・MDF-U731M	100	250×3	3台
31	土壌環境実験棟	3	301	冷凍庫	パナソニック・KM-MU28H1J	100	80	
32	土壌環境実験棟	3	301	冷蔵庫	日本フリーザー・LKEXV-5400	100	140	
33	循環・廃棄物研究棟	1	186	送風機	ACU-12 EPC-1 動力制御盤	三相200	-	
34	循環・廃棄物研究棟	1	186	電気ヒーター	ACU-12 EPC-1 動力制御盤	三相200	-	
35	循環・廃棄物研究棟	1	186	冷凍機	RU-12 EPC-1 動力制御盤	三相200	2,300	
36	循環・廃棄物研究棟	1	186	除湿機	DH-12 EPC-1 動力制御盤	三相200	-	
37	循環・廃棄物研究棟	1	186	送風機	ACU-11 EPC-1 動力制御盤	200	-	
38	循環・廃棄物研究棟	1	186	電気ヒーター	ACU-11 EPC-1 動力制御盤	200	-	
39	循環・廃棄物研究棟	1	186	冷凍機	RU-11 EPC-1 動力制御盤	200	2,300	
40	循環・廃棄物研究棟	1	186	除湿機	DH-11 EPC-1 動力制御盤	200	-	
41	循環・廃棄物研究棟	2	293	送風機	ACU-41 EPC-4 動力制御盤	三相200	-	
42	循環・廃棄物研究棟	2	293	電気ヒーター	ACU-41 EPC-4 動力制御盤	三相200	-	
43	循環・廃棄物研究棟	2	293	冷凍機	RU-41 EPC-4 動力制御盤	三相200	1,600	
44	RI棟	1	101	一般冷蔵庫	シャープ・SJ-55W	100	200	仮設電源①
45	RI棟	1	101	一般冷蔵庫	シャープ・SJ-14W	100	100	仮設電源②
46	RI棟	1	101	一般冷蔵庫	シャープ・SJ-14W	100	100	仮設電源③
47	ナノ粒子健康影響実験棟	4		AC-2		三相200	5,500	送風のみ
48	ナノ粒子健康影響実験棟	5		AC-3		三相200	7,500	送風のみ

仮設電源要求箇所一覧（想定）

※ 本部は、グループ停電日に該当するものの対応 となります。

整番	施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
						(V)	(W)	
49	研究第1棟	2	206	電気冷凍冷蔵庫	日本フリーザー・KGT-4010HC	100	150	仮設電源(1)
50	研究第1棟	1	122	電気冷蔵庫	日本フリーザー・NC-ME18A	100	150	仮設電源(2)
51	研究第1棟	1	122	電気冷蔵庫	日本フリーザー・NC-ME18A	100	150	仮設電源(3)
52	研究第1棟	1	122	電気冷蔵庫	PHCBI MPR-S300H-PJ	100	130	仮設電源(4)
53	環境リスク研究棟	4	422		Thermo scientific	100	100	
54	環境リスク研究棟	4	422		Panasonic	100	100	
55	循環・廃棄物研究棟	1	187	マイクロチャンバーシステム	GL LTI-400E	100	900	取り下げ
56	循環・廃棄物研究棟	1	187	サンプリングポンプ	GL SP-209 Dual	100	15	取り下げ
57	循環・廃棄物研究棟	1	187	サンプリングポンプ	GL SP-208 Dual II	100	20	取り下げ
58	循環・廃棄物研究棟	1	188	マイクロチャンバーシステム	GL LTI-400E	100	900	取り下げ
59	循環・廃棄物研究棟	1	188	サンプリングポンプ	GL SP-209 Dual	100	15	取り下げ
60	循環・廃棄物研究棟	2	283	キセノン促進試験機	Q-LAB Xe-1	単相200	2500	配置図の⑥
61	循環・廃棄物研究棟	2	283	サンプリングポンプ	GL SP-209 Dual	100	15	配置図の⑦
62	循環・廃棄物研究棟	2	283	サンプリングポンプ	GL SP-208 Dual II	100	20	配置図の⑧
63	循環・廃棄物研究棟	2	283	マスフローコントローラー	PE-D20	100	30	配置図の⑨
64	循環・廃棄物研究棟	2	283	マスフローコントローラー	PE-D20	100	30	配置図の⑩
65	環境試料タイムカプセル棟	2	113	冷凍庫	パナソニック・KM-MU28H1J	100	180	仮設電源2-1 1
66	環境試料タイムカプセル棟	2	113	保冷库	PHC株式会社MPR-1411-PJ	100	330	仮設電源2-1 2
67	環境試料タイムカプセル棟	2	113	大型フリーザー	日本フリーザー・UKS-5000HC	100	120	仮設電源2-1 3
68	環境試料タイムカプセル棟	2	113	大型フリーザー	日本フリーザー・GS-5203KHC	100	140	仮設電源2-1 4
69	環境試料タイムカプセル棟	2	113	防爆冷蔵庫	日本フリーザー・EP-400	100	275	仮設電源2-1 5
70	環境試料タイムカプセル棟	2	113	防爆冷蔵庫	日本フリーザー・EP-400	100	275	仮設電源2-1 6
71	環境試料タイムカプセル棟	1	105	大型冷蔵庫	日本フリーザー・KGT-4010HC	100	150	仮設電源2-2 7
72	環境試料タイムカプセル棟	1	105	大型冷蔵庫	サンヨー・MDF-U33V	100	670	仮設電源2-2 8
73	環境試料タイムカプセル棟	1	105	大型冷蔵庫	パナソニック・KM-DU53Y1J	200	570	仮設電源2-2 9
74	環境試料タイムカプセル棟	1	103	インキュベーター	NAPCO	100	600	仮設電源(103室)1
75	環境試料タイムカプセル棟	1	103	CO ₂ インキュベーター(2台)	SANYO・MCO-18AIC	100	310W×2	仮設電源(103室)2/2台
76	環境試料タイムカプセル棟	1	103	薬用冷蔵庫	SANYO・MPR-414F	100	336/388W	仮設電源(103室)3
77	環境試料タイムカプセル棟	1	103	冷凍庫	日本フリーザー・CLN-35CW	200	1,240	仮設電源(103室)4
78	環境試料タイムカプセル棟	2	118		パナソニック・KM-DU73Y1J	200	1,110	仮設電源(118号室)1
79	環境試料タイムカプセル棟	2	118		パナソニック・KM-DU73Y1J	200	1,110	仮設電源(118号室)2
80	環境試料タイムカプセル棟	2	118		サンヨー・MDF-U33V	100	670	仮設電源(118号室)3
81	環境試料タイムカプセル棟	2	118		日本フリーザー・GS-5210HC	100	140/140W	仮設電源(118号室)4
82	環境試料タイムカプセル棟	2	118		ナショナル・NR-ME462U-S	100	180	仮設電源(118号室)5
83	環境試料タイムカプセル棟	2	118		PHCbi MDF-MU339H-PJ	100	230	仮設電源(118号室)6
84	環境試料タイムカプセル棟	2	118		日本フリーザー・KGF-4010HC	100	150/150W	仮設電源(118号室)7
85	環境試料タイムカプセル棟	2	118		日本フリーザー・FKVG-4110D	100	160/150W	仮設電源(118号室)8
86	環境試料タイムカプセル棟	2	118		日本フリーザー・UKS-5410DH	100	130/140W	仮設電源(118号室)9
87	環境試料タイムカプセル棟	1	103	冷蔵庫	Haier・JR-NF340A	100	200	仮設電源①
88	環境試料タイムカプセル棟	1	103	冷蔵庫	Haier・JR-NF340A	100	200	仮設電源②
89	環境試料タイムカプセル棟	1	104	フリーザー(-80℃)	パナソニック・KM-DU53Y1	三相200	1,150	仮設電源①
90	環境試料タイムカプセル棟	1	104	CO ₂ インキュベーター(2台)	MCO-18AIC	100	310W×2	仮設電源②③ 2台
91	環境試料タイムカプセル棟	1	104	ダイレクトヒート型CO ₂ マルチガスインキュベーター	ASTEC SMA-30D	100	400	仮設電源④
92	環境試料タイムカプセル棟	1	104	ダイレクトヒート型CO ₂ インキュベーター	ASTEC SCA-30D	100	400	仮設電源⑤
93	環境試料タイムカプセル棟	1	104	研究用保冷库	phcbi MPR-722R	100	490	仮設電源⑥
94	地球温暖化研究棟	3	307	超低温フリーザー	パナソニック KM-DU53Y1J Phcbi MDF-DU502VH-PJ	三相200	570 890	配置図の① 機種変更
95	地球温暖化研究棟	3	307	ハイオメガルフリーザー	パナソニック KM-MU28H1J	100	80	配置図の②
96	地球温暖化研究棟	3	307	冷凍冷蔵庫	シャープ SJ-PW42W	100	150	配置図の③

仮設電源要求箇所一覧（想定）

※ 本部は、グループ停電日に該当するものの対応 となります。

整番	施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
						(V)	(W)	
97	研究本館Ⅲ	2	287	CO2インキュベーター	PHCbi MCO-230AICUV-PJ	100	400	配置図の①
98	研究本館Ⅲ	2	287	CO2インキュベーター	PHCbi MCO-170AIC-PJ	100	350	配置図の②
99	研究本館Ⅲ	2	287	冷蔵冷凍庫	富士通 ER-F46W-H	100	300	配置図の③
100	研究本館Ⅲ	2	286	バイオメディカルフリーザー	Panasonic MDF-437-PJ	100	300	配置図の④
101	研究本館Ⅲ	2	286	バイオメディカルフリーザー	Panasonic MDF-437-PJ	100	300	配置図の⑤
102	研究第2棟	2	219	バイオメディカルクーラー	日本フリーザー・UKS-5410DH	100	130	配置図の⑥
103	研究第2棟	2	219	バイオメディカルフリーザー	KM-MU49H1J	100	130	配置図の⑦
104	研究第2棟	2	219	メディカルフリーザー	FMF-500FD	100	510	配置図の⑧
105	研究第2棟	2	219	クロマトチャンバー	MC-20EC	100	210	配置図の⑨
106	研究第2棟	2	219	バイオメディカルフリーザー	MDF-U537	100	330	配置図の⑩
107	研究第2棟	2	219	超低音フリーザー	MDF-U384	100	830	配置図の⑪
108	研究第2棟	2	219	超低音フリーザー	VT-78HC	100	250	配置図の⑫
109	研究第2棟	2	219	冷蔵冷凍庫	SHARP SJ-WA35P	100	200	配置図の⑬
110	研究第2棟	2	219	冷蔵冷凍庫	Panasonic NR-B18C1-K	100	120	配置図の⑭
111	生物環境調節実験施設	1		有圧ファン 2連		三相200	340	延長ケーブルのプラグ(4極、20A 250V)が接続できるようにコネクターを設置してください。配置図の①
112	生物環境調節実験施設	1		有圧ファン 1連		三相200	170	同上 配置図の②
113	生物環境調節実験施設	2		有圧ファン 2連		三相200	340	同上 配置図の③
114	生物環境調節実験施設	2		有圧ファン 1連		三相200	170	同上 配置図の④
115	生物環境調節実験施設	2		4℃冷蔵庫	宮川科学EV200WR	100	210	配置図の⑤
116	土壌環境実験棟	2		有圧ファン 2連		三相200	340	延長ケーブルのプラグ(4極、20A 250V)が接続できるようにコネクターを設置してください。配置図の⑥
117	土壌環境実験棟	2		有圧ファン 1連		三相200	170	同上 配置図の⑦
118	土壌環境実験棟	2		ポータブルクーラー	IRIS OHYAMA IPA-3521GH 2台	100	850 × 2	延長ケーブルのプラグ(2極・15A・125V)が接続できるようにコネクターを設置してください。配置図の⑧
119	生物環境調節実験施設	2	212	4℃冷蔵庫	日本フリーザー・NC-ME 18HC	100	120	医療用外劇物保管用 仮設電源、配置図の①
120	生物環境調節実験施設	2	212	-80℃冷凍庫	日本フリーザー・CLN-35C	100	520	仮設電源、配置図の②
121	生物環境調節実験施設	2	202A	4℃冷蔵庫	日本フリーザー・UKS-3610DHC	100	130	医療用外劇物保管用
122	生物環境調節実験施設	2	203	-80℃冷凍庫	パナソニック・MDF-193AT-PJ	100	410	203室HG5右側奥
123	生物環境調節実験施設	2	201	冷凍庫(-85℃)	日本フリーザー・CLN35C	100	550	仮設電源(配置図の①)
124	生物環境調節実験施設	2	201	冷蔵庫(4℃)	日本フリーザー・UKS-5000HC	100	120	仮設電源(配置図の②)
125	生物環境調節実験施設	2	201	冷凍庫(-20℃)	日本フリーザー・GSS-3065F3	400	270	取り下げ
126	生物環境調節実験施設	2	201	冷凍庫(-20℃)	日本フリーザー・GS3120HC	100	120	仮設電源(配置図の④)
127	生物環境調節実験施設	2	201	冷凍庫(-85℃)	日本フリーザー・CL-322U	100	1,500	仮設電源(配置図の⑤)
128	生物環境調節実験施設	2	201	冷凍庫(-80℃)	日本フリーザー・VT-78	100	350	仮設電源(配置図の⑥)
129	生物環境調節実験施設	2	201	冷凍庫(-20℃)	パナソニック・KM-MU28H1	100	80	仮設電源(配置図の⑦)
130	生物環境調節実験施設	2	201	冷凍庫(-20℃)	日本フリーザー・GS3120HC	100	120	仮設電源(配置図の⑧)
131	生物環境調節実験施設	2	201	冷蔵庫(4℃)	日本フリーザー・UKS-3600	100	200	仮設電源(配置図の⑨)
132	生物環境調節実験施設	2	201	培養室A空調	空調	200		培養室A空調(コンセント含む)制御盤で調節
133	生物環境調節実験施設	2	201	培養室A 右側の培養棚(計4台)(照明)		200		培養室A手前に配電盤
134	生物環境調節実験施設	2	201	培養室A 左側の培養棚(計4台)(照明)		100		
135	水環境実験施設	1	108	リアクター用ポンプ		100	15	①上段奥コンセント
136	水環境実験施設	1	108	リアクター用ポンプ		100	15	②上段奥コンセント
137	水環境実験施設	1	108	テーブルタップ	(ポンプ1台、YAMATO 温度調整機 CFA302)	100	1,000	③上段手前コンセント
138	水環境実験施設	1	108	テーブルタップ	(ポンプ2台、pH調整機1台)	125	500	④上段手前コンセント
139	水環境実験施設	1	108	リアクター用ポンプ		400	15	取り下げ
140	水環境実験施設	1	108	温度調節器	YAMATO (CFA302)	400	1,200	取り下げ
141	水環境実験施設	1	108	テーブルタップ	(リアクター用ポンプ)	400	15	取り下げ
142	水環境実験施設	1	108	大型スターラー	アズワン機器	100	100	⑧下段手前コンセント

仮設電源要求箇所一覧（想定）

※ 本部署は、グループ停電日に該当するものの対応となります。

整番	施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
						(V)	(W)	
143	研究第2棟	2	228	冷蔵庫	EV-190N	100	340	白 縦型 ①
144	研究第2棟	2	228	冷凍庫	MDF-MU539H-PJ	100	230	白 縦型 ②
145	研究第2棟	2	228	低温フリーザー	MDF-393AT	100	870	白 横型 ③
146	研究第2棟	2	228	冷蔵庫	MPR-311D(H)	100	260	白 縦型 ④
147	環境遺伝子棟	2	206	冷凍庫	日本フリーザー	100	100	仮設電源①
148	環境遺伝子棟	2	212	一般冷蔵庫	富士通・ER46R	100	200	仮設電源①
149	環境放射線研究施設	1	102	-20℃冷凍室		三相200		低温庫制御盤に仮設電源引き込み 低温庫制御盤に仮設電源引き込み
150	環境放射線研究施設	1	102	5℃冷蔵室		100/200 1φ3W		
151	環境放射線研究施設	1	102	冷凍庫	サンヨー・MDF-U730M	100	260	
152	環境放射線研究施設	1	102	冷蔵庫	日本フリーザー・NR-630F3	100	280	
153	動物実験棟 I	4	402	超低温槽	日本フリーザー・CLN-35C	100	550	
154	動物実験棟 I	4	402	超低温槽	Panasonic・KM-DU53Y1J	三相200	570	
155	動物実験棟 I	4	402	超低温槽	日本フリーザー・CLN-32U	100	650	
156	動物実験棟 I	4	402	メディカルフリーザー	サンヨー・MDF-U538D	100	320	配置図の④
157	動物実験棟 I	4	403	CO2インキュベータ	サンヨー・MCO-18AIC(UV)	100	310	配置図の⑤
158	動物実験棟 I	4	404	薬用冷蔵ショーケース	フクシマガリイ・FMS-800GH-SR	100	219	配置図の⑥
159	動物実験棟 I	4	404	薬用冷蔵ショーケース	サンヨー・MPR-514	100	215	配置図の⑦
160	動物実験棟 I	4	404	冷蔵庫	シャープ・SJ-56S	100	150	配置図の⑧
161	動物実験棟 I	4	404	メディカルフリーザー	サンヨー・MDF-U332	100	120	配置図の⑨
162	研究第1棟	2		電話交換機	-	三相200	9,500	配置図の①
163	研究第1棟	2		パッケージエアコン	-	三相200	10,000	配置図の②
164	研究第1棟	1		冷蔵庫	日立 RU-R10MF1	三相200	840	配置図の③
165	研究第1棟	1		冷凍庫	日立 RU-R20LF1	三相200	1,330	配置図の④
166	守衛所	1		照明、電気ストーブ		100	2,000	
167	研究第2棟	1	144	冷凍庫	日本フリーザー・VT-78	100	350	廊下(144室と145室の間)に設置
168	研究第2棟	1	144	冷凍冷蔵庫	シャープ・SJ-WA35E	100	200	
169	環境リスク研究棟	1	118	ヒーター レイシーター	IWAKI-AZ151X×2台	100	80 260W×2台=520W	取り下げ
170	環境リスク研究棟	1	118	冷暖機レイシー PC		100	40 285	取り下げ
171	環境リスク研究棟	1	118	蛍光灯 DC計		100	20 15	取り下げ
172	環境リスク研究棟	1	118	レイシーマグネットポンプ スリーワンモーター		100	2 12	取り下げ
173	環境リスク研究棟	1	118	レイシーサーモントローラー 水流ポンプ×2	FG-101	100	400 2W×2台=4W	取り下げ
174	環境リスク研究棟	1	118	レイシーター	IWAKI-AZ151X×3台	100	260W×3台=780W	取り下げ
175	環境リスク研究棟	1	118	スリーワンモーター		100	12	取り下げ
176	環境リスク研究棟	1	118	照明	3台	100	20W×3台=60W	取り下げ
177	環境リスク研究棟	1	118	水流ポンプ	2台	100	2W×3台=6W	取り下げ
178	環境リスク研究棟	1	118	ヒーターター	IWAKI-FZ-401HPN-Z	100	715	取り下げ
179	環境リスク研究棟	1	118	レイシーマグネットポンプ		100	365	取り下げ
180	環境リスク研究棟	1	118	エアレーション	3台	100	4.5W×3台=13.5W	取り下げ
181	環境リスク研究棟	2	219	冷蔵庫	サンヨー・MPR161D(H)	100	130	仮設電源(2)-① 仮設電源(3)-①
182	環境リスク研究棟	2	219	冷蔵庫	三菱 MR-31B	100	115	仮設電源(2)-① 仮設電源(3)-①
183	ナノ粒子健康影響実験棟	3	1303	CO ₂ 細胞培養恒温器	池本理化10-0211	100	450	配置図①
184	ナノ粒子健康影響実験棟	3	1303	冷凍冷蔵庫	東芝・GR-A22A	100	150	配置図②
185	動物実験棟 I	4	407	冷凍冷蔵庫	SHARP・SJ-310H	100	150	配置図③
186	動物実験棟 I	4	407	CO ₂ 細胞培養恒温器	池本理化10-0211	100	450	配置図(新規)参照
187	動物実験棟 I	5	507	冷凍冷蔵庫	SANYO・MPR-414F	100	130	配置図④

仮設電源要求箇所一覧（想定）

※ 本部署は、グループ停電日に該当するものの対応 となります。

整番	施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
						(V)	(W)	
188	動物実験棟 I	5	507	バイオフリーザー	日本フリーザー・GS-1376HC	100	80	配置図⑤
189	動物実験棟 I	5	507	冷凍庫	日本フリーザー・GSS-3156HC	100	150	配置図⑥
190	動物実験棟 I	5	507	バイオメディカルフリーザー	SANYO・MDF-U537D	100	230	配置図⑦
191	動物実験棟 I	5	507	ディープフリーザー	SANYO・MDF-U32V	100	735	配置図⑧
192	動物実験棟 I	5	503	冷凍冷蔵庫	SANYO・MPR-414F	100	130	配置図⑨
193	動物実験棟 I	5	503	恒温培養器	池本理科・10-0212AG	100	750	配置図⑩
194	動物実験棟 I	5	504	薬用冷蔵ショーケース	SANYO・MPR-312D	100	225	配置図⑪
195	動物実験棟 I	5	504	薬用冷蔵庫	SANYO・MPR-414FR	100	130	配置図⑫
196	動物実験棟 I	5	504	テーブル冷蔵庫	Hoshizak・RT-210PNA	100	200	配置図⑬
197	ナノ粒子健康影響実験棟	1	1103	冷凍冷蔵庫	HIZAKI HRF-120XT	100	640	
198	ナノ粒子健康影響実験棟	1	1103	超低温フリーザー	pHcbi・MDF-DU300H-PJ	100	650	
199	ナノ粒子健康影響実験棟	1	1103	冷凍冷蔵庫	SHARP・SJ-23A	100	203	
200	ナノ粒子健康影響実験棟	1	1102	無停電電源装置	APC SMART-UPS-750	100	700	取り下げ
201	ナノ粒子健康影響実験棟	1	1102	無停電電源装置	APC SMART-UPS-750	100	700	取り下げ
202	ナノ粒子健康影響実験棟	1	1104	ダイヤフラムポンプ	VACUUBRAND MD 1 VARIO-SP	100	300	
203	ナノ粒子健康影響実験棟	3	1302	吸入実験装置主計器盤	主計器盤	200V 3φ3W	75A	取り下げ
204	ナノ粒子健康影響実験棟	3	1302	吸入実験装置主計器盤	主計器盤	100/200 1φ3W	100A	取り下げ
205	ナノ粒子健康影響実験棟	3	1302	無停電電源装置	APC SMART-UPS-750	100	700	取り下げ
206	環境保健研究棟	1		バイオフリーザー	日本フリーザー・GS5210HC	100	140	仮設電源①
207	環境保健研究棟	1		ディープフリーザー	レブコ	200	580	仮設電源②
208	環境保健研究棟	1		ディープフリーザー	サンヨー・MDF394	100	1,500	仮設電源③
209	環境保健研究棟	1		インキュベーター	サンヨー・MIR553	100	300	仮設電源④
210	生態系実験施設	1		ディープフリーザー	レブコ	100	580	仮設電源⑤
211	生態系実験施設	1		ディープフリーザー	スターリング	100	380	仮設電源⑥
212	生態系実験施設	1		バイオマルチクーラー	日本フリーザー-KGT-4010HC	100	150	仮設電源⑦
213	生態系実験施設	1		自動保冷库	ブルックス	三相200	40KVA	⑧屋外接続盤設置 電源切替時に立ち合い
214	エコチル試料保存棟	1		ディープフリーザー(9台)	(レブコ)ULT2586-10HD	200	950×9	⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱ 同一機種9台
215	エコチル試料保存棟	1		ディープフリーザー(6台)	(レブコ)UXF60086D	200	900×6	⑲⑳㉑㉒㉓㉔ 同一機種6台
216	エコチル試料保存棟	1		ディープフリーザー(5台)	(スターリング)SU780UE	100	380×5	㉕㉖㉗㉘㉙ 同一機種5台
217	エコチル試料保存棟	1		ディープフリーザー(4台)	(レブコ)RLE60086D	100	580×4	㉚㉛㉜㉝ 同一機種4台
218	エコチル試料保存棟	1		ディープフリーザー(10台)	(Thermo)TDE60086FD	200	500×10	㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸ 同一機種10台
219	動物実験棟 I	4	411		Thermo社 TSX600G	100	463	1
220	動物実験棟 I	4	411		Thermo社 TSX600G	100	463	2
221	動物実験棟 I	4	409		PHCbI MPR-450FH-PJ	100	350	3
222	動物実験棟 I	5	501		SANYO MPR-162D	100	170	4
223	動物実験棟 I	5	501	薬用冷蔵ショーケース	PHCbI MPR-S300H-PJ	100	175	5
224	動物実験棟 I	5	501	薬用保冷库	PHCbI MPR-N450FH-PJ	100	350	6
225	動物実験棟 I	5	501	バイオメディカルフリーザー	PHCbI MDF-MU539H-PJ	100	230	7
226	循環・廃棄物研究棟	1	189	ガスカウンタ	BPC-G0	100	12	4台 アングルA中段
227	循環・廃棄物研究棟	1	189	スターラー	VPS-200B HVDN-L	100	200	15 2台 アングルA中段
228	循環・廃棄物研究棟	1	189	ダイヤフラム式ポンプ	Q-100-VF-P-S	100	10	2台 アングルA上段
229	循環・廃棄物研究棟	1	189	恒温循環水槽	NTT-20G	100	1,100	1台 アングルA下段
230	循環・廃棄物研究棟	1	189	恒温循環水槽	NTT-20G	100	1,100	1台 アングルC下段
231	循環・廃棄物研究棟	1	189	シェーカー	As One MSI-60	100	400	2台 机
232	循環・廃棄物研究棟	1	189	シェーカー	As One MSI-60	100	400	1台 アングルB中段
232-2	循環・廃棄物研究棟	1	189	ポンプ	ハンディーポンプ(青)	100	4	2台 アングルC中段
232-3	循環・廃棄物研究棟	1	189	ポンプ	ATTO ベリスタポンプ	100	12	2台 アングルC中段
232-4	循環・廃棄物研究棟	1	189	インキュベーター	WI-50	100	200	1台 アングルC中段

仮設電源要求箇所一覧（想定）

※ 本局は、グループ停電日に該当するものの対応 となります。

整番	施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
						(V)	(W)	
233	循環・廃棄物研究棟	1	189	スターラー	VPS-200B	100	200	1台 アングルC中段
234	循環・廃棄物研究棟	1	189	ダイヤフラム式ポンプ	Q-100-VF-P-S	100	10	4台 アングルC上下段
235	循環・廃棄物研究棟	1	189	スターラー	HVDN	100	600	取り下げ
236	水質水理実験棟	1	M-102-4	冷凍冷蔵庫	東芝・ERE25A	100	90	配置図 NO.1
237	水質水理実験棟	1	M-102-4	冷蔵庫	ワールプール	100	200	配置図 NO.2
238	水質水理実験棟	1	M-102-5	冷凍冷蔵庫	サンヨー・MPR-414F	100	540	配置図 NO.3
239	水質水理実験棟	1	-	大型冷蔵庫	日本医化器械	100	500(推定)	配置図 NO.4
240	水質水理実験棟	1	-	大型冷蔵庫	日本医化器械	100	500(推定)	配置図 NO.5
241	水質水理実験棟	1	-	ベンチ型冷凍庫	サンヨー・MDF-436	100	210	配置図 NO.6
242	水質水理実験棟	1	-	小型冷凍庫	パナソニック・NR-RP12N1-H	100	130	配置図 NO.7
243	水質水理実験棟	1	-	ベンチ型冷凍庫	サンヨー・MDF-436	100	210	配置図 NO.8
244	水質水理実験棟	1	-	ベンチ型冷凍庫	パナソニック・MDP-437PJ	100	210	配置図 NO.9
245	水質水理実験棟	1	-	縦型冷蔵庫	三洋 MPR-311D	100	180	配置図 NO.10
246	水質水理実験棟	1	-	超低温フリーザ	パナソニック・ベンチ型	100	370	配置図 NO.11
247	水質水理実験棟	1	-	縦型冷凍庫	パナソニック・KM-MU28H1J	100	80	配置図 NO.12
248	水質水理実験棟	1	-	ベンチ型冷凍庫	サンヨー・MDF-436	100	210	配置図 NO.13
249	水質水理実験棟	1	-	冷凍庫	ダイキン・LBF05AS	100	140	配置図 NO.14
250	水質水理実験棟	1	-	冷凍庫	サンデン・SH-700XB	100	122	配置図 NO.15
251	水質水理実験棟	1	M-102-1	小型冷蔵庫	ナ・NR-PZ12A1	100	150	配置図 NO.16
252	水質水理実験棟	1	M-102-1	ベンチ型冷凍庫	サンヨー・MDF436	100	210	配置図 NO.17
253	水質水理実験棟	1	M-102-1	ベンチ型冷凍庫	サンヨー・MDF436	100	210	配置図 NO.18
254	水質水理実験棟	1	M-102-1	人工気象器	日本医化器械製作所・LH-60FL12-DT	100	650	配置図 NO.23
255	水質水理実験棟	1	M-102-1	人工気象器	日本医化器械製作所・LH-60FL12-DT	100	650	配置図 NO.24
256	水質水理実験棟	1	M-102-1	培養庫	EYELA MTI-202	100	1,800	配置図 NO.25
257	水質水理実験棟	1	M-102-1	冷凍庫	サンヨー・MDF-U537D	100	286	配置図 NO.26
258	水質水理実験棟	1	M-102-1	冷蔵庫	日本フリーザー・UKS-5410DH	100	130	配置図 NO.27
259	水質水理実験棟	1	M-102-2	培養庫	Eyela・FLI2000	100	2,000	取り下げ
260	水質水理実験棟	1	M-101	人工気象器	日本医化器械製作所・LH-60FL12-DT	100	650	配置図 NO.29
261	水質水理実験棟	1	M-101	人工気象器	日本医化器械製作所・LH-55-RD	100	450	配置図 NO.30
262	水質水理実験棟	1	M-101	培養庫	Eyela・MTI-1000	100	1,800	配置図 NO.31
263	循環・廃棄物研究棟	1	186	超低温フリーザー	PHCbi・MDF-C8V1-PJ	100	310	配置図①
264	環境生物保存棟	1	106	保冷库	サンヨー・MPR-214FS	100	250	図中記号① 5°C/-20°C
265	環境生物保存棟	1	106	保冷库	サンヨー・MPR-311H	100	180	図中記号② 表示なし(4°C)
266	環境生物保存棟	1	108	超低温フリーザ	Panasonic KM-DU34H1J	100	650	図中記号③ -80°C
267	環境生物保存棟	1	108	フリーザ	日本フリーザー・GS-3120HC	100	120	図中記号④ -20°C
268	環境生物保存棟	1	108	保冷库	日本フリーザー・UKS-3600 BF311A	100	220	図中記号⑤ 表示なし(5°C)
269	環境生物保存棟	1	108	フリーザ	日本フリーザー・GS-5210HC	100	140	図中記号⑥ -28°C 108部屋ドアの開放
270	環境生物保存棟	1	108	フリーザ	日本フリーザー・GS-3120HC	100	120	図中記号⑦ -30°C
271	環境生物保存棟	2	205	フリーザ	朝日ライフサイエンス・ALS-657HC	100	5A(定格) 15A(ブレーカ容量)	図中記号⑧ -20°C
272	環境生物保存棟	2	217	薬用保冷库	パナソニック・MPR-215FS	100	240	図中記号⑨ 5°C/-30°C
273	環境生物保存棟	2	217	バイオメテカルフリーザ	パナソニック・KM-MU49H1J	100	130	図中記号⑩ -30°C
274	環境生物保存棟	2	217	バイオメテカルクーラー	日本フリーザー・UKS-5410DHC	100	130	図中記号⑪ 5°C 217室ドアの開放
275	環境生物保存棟	2	220	光合成インキュベータ	ADVANTEC PEL-2160	100	3,500	図中記号⑫ 左側手前から1台目、上側のみ15°C
276	環境生物保存棟	2	220	マルチインキュベータ	EYELA MTI-202B	100	1,750	図中記号⑬ 右側奥から2台目 19.0/18.0/17.5/15/12.5°C
277	環境生物保存棟	2	220	Bio-Shaker	TAITEC BR-300LF	100	2,000	図中記号⑭ 20°C設定、実際は15°C 220部屋を循環する送風機希望 ドアの開放
278	環境生物保存棟	2	206前	保冷库内照明用ユニット		100	不明	図中記号⑮ 単相100V、接地極付 蛍光灯ライト
279	環境生物保存棟	2	206前	冷蔵ショーケース	サンヨー・MPR-312D	100	180	図中記号⑯ 4°C

仮設電源要求箇所一覧（想定）

※ 本部署は、グループ停電日に該当するものの対応となります。

整番	施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
						(V)	(W)	
280	環境生物保存棟	2	211	LED照明用コントローラ		100	不明	図中記号① 単相100V 接地極付
281	環境生物保存棟	2	208	2連式光合成インキュベータ	日本医化・LH-320LED-ICM Mid	100	1200	図中記号⑧ IN01 24°C/IN02 24°C
282	環境生物保存棟	2	208	2連式光合成インキュベータ	日本医化・LH-320LED-ICM Mid	100	1200	図中記号⑨ IN03 24°C/IN04 22°C
283	環境生物保存棟	2	208	2連式光合成インキュベータ	日本医化・LH-320LED-ICM Mid	100	1200	図中記号⑩ IN07 25°C/IN08 22°C
284	環境生物保存棟	2	208	2連式光合成インキュベータ	日本医化・LH-320LED-ICM Mid	100	1200	図中記号⑪ IN09 22°C/IN10 22°C
285	環境生物保存棟	2	208	2連式光合成インキュベータ	日本医化・LH-320LED-ICM Hi	100	1350	図中記号⑫ IN11 37°C/IN12 25°C
286	環境生物保存棟	3	305	バイオメディカルフリーザー	サンヨー・MDF-U539	100	260	図中記号⑬ -30°C
287	環境生物保存棟	3	305	保冷库	日本フリーザー・USK-5410DH	100	130	図中記号⑭ 4°C
288	環境生物保存棟	3	306	人工気象器	日本医化器械製作所 LH241S	100	200	図中記号⑮ 20°C
289	環境生物保存棟	3	306	高温インキュベータ	EYELA FLI-2000	100	2,300	図中記号⑯ 25°C
290	環境生物保存棟	3	306	バイオメディカルフリーザー	Panasonic・MDF-U539	100	190	図中記号⑰ -30°C
291	環境生物保存棟	3	306	バイオメディカルフリーザー	Panasonic KM-MU49H1J	100	130	図中記号⑱ -30°C
292	環境生物保存棟Ⅰ	2	206	自家発電と電気系統が異なる。				空調停止 図中黄色
293	環境生物保存棟Ⅰ	2	207					自家発電による供給 20°C
294	環境生物保存棟Ⅰ	2	208					自家発電による供給 20°C
295	環境生物保存棟Ⅰ	2	211					自家発電による供給 5°C
296	環境生物保存棟Ⅰ	2	212					自家発電による供給 12°C
297	環境生物保存棟Ⅰ	2	213					自家発電による供給 15°C
298	環境生物保存棟Ⅰ	2	214					自家発電による供給 20°C
299	環境生物保存棟Ⅰ	2	215	自家発電と電気系統が異なる。				空調停止 図中黄色
300	環境生物保存棟Ⅱ	2	219					空調をお願いします 22°C
301	環境生物保存棟Ⅱ	3	302					空調をお願いします 4°C
302	環境遺伝子工学実験棟	1	103	一般冷蔵庫	Haier・JR-NF340A	100	200	仮設電源103-①
303	環境遺伝子工学実験棟	1	103	2ドア冷凍冷蔵庫	日本フリーザー・KGT-4010HC	100	150	仮設電源103-②
304	RI棟	1	109	薬用冷凍冷蔵庫	FMS-F304G	100	375	配置図①(仮設電源109-①)
305	環境遺伝子工学実験棟	1	106	マイバイオ（小型超低温槽）	NIHON FREEZER VT-208H	100	330	配置図②(仮設電源106-①)
306	環境遺伝子工学実験棟	1	107	冷凍冷蔵庫	Haier・JR-NF340A	100	366	配置図③(仮設電源107-①)
307	環境遺伝子工学実験棟	1	116	薬用保冷库	pHCbi MPR-N450FH-PJ	100	350	配置図④(仮設電源116-①)
308	環境遺伝子工学実験棟	1	109	薬用ショーケース	PHC・MPR-S300H-PJ	100	175	仮設電源 109-②
309	環境遺伝子工学実験棟	1	110	一般冷蔵庫	Haier・JR-NF340A	100	200	仮設電源110-①
310	土壌環境実験棟	3	302	業務用冷凍冷蔵庫	フクシマガリレイGRN-092P	100	470	所在(配置)下図1左
311	土壌環境実験棟	3	305	バイオフリーザー	日本フリーザー GS-3120H	400	490	取り下げ
312	土壌環境実験棟	3	305	業務用冷凍庫	日本フリーザー・GS-5210HC	100	190	所在(配置)下図2左中
313	土壌環境実験棟	3	305	メディカルクーラー	UKS-390HC	100	100	所在(配置)下図2左下
314	土壌環境実験棟	1	104	医療用ショーウィンドウ型冷蔵庫	SANYO・MPR-311DR	100	240	所在(配置)下図3
315	土壌環境実験棟	1	104	家庭用冷蔵庫	HITACHI R-BF28NA	100	160	所在(配置)下図3
316	研究第2棟	3	314	バイオフリーザー	日本フリーザー GS-3120H	100	190	所在(配置)次頁図4右
317	研究第2棟	3	314	業務用冷凍庫	日本フリーザー・UKS-3610DHC	100	130	所在(配置)次頁図4上
318	研究本館Ⅲ	2	291	冷凍冷蔵庫	ナショナル NR-B14BA	400	45kWh/月（約90W）	取り下げ
319	環境リスク研究棟	1	106	冷凍冷蔵庫	ナショナル NR-B26F2-H	100	45kWh/月（約90W）	
320	環境リスク研究棟	1	106	ディープフリーザー	パナソニックMDF-437-PJ	100	170	
321	環境リスク研究棟	1	109	マグネットポンプ	レイシー RMD-201	100	40	1台
322	環境リスク研究棟	1	109	紫外線殺菌灯	カミハタターボツイストZ36W	100	38	1台
323	環境リスク研究棟	1	109	クーラー	レイシー LX-120EXA	100	240	1台
324	環境リスク研究棟	1	109	サーモコントローラー	レイシー TC-100	100	400-1000	1台
325	環境リスク研究棟	1	109	鑑賞魚用ヒーター	コトブキ工業	100	300	1台
326	環境リスク研究棟	1	409	エアポンプ	アデックス 202	400	4.5	取り下げ
327	環境リスク研究棟	1	409	海水循環ポンプ	ニッソー SQ-05S	400	42	取り下げ

仮設電源要求箇所一覧（想定）

※ 本局は、グループ停電日に該当するものの対応となります。

整番	施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
						(V)	(W)	
328	環境リスク研究棟	1	409	観賞魚用照明	ジェックス CLEAR LED POWER-III 900	400	23.5	取り下げ
329	環境リスク研究棟	1	110	海水循環ポンプ	ニッソー・SQ-05S	100	12	2台
330	環境リスク研究棟	1	110	海水クーラ	効工工業・TK-60	100	冷凍機入力130W、 冷凍機出力60W、ファン15W	1台
331	環境リスク研究棟	1	440	鑑賞魚用ヒーター	ニッソー	400	300	取り下げ
332	環境リスク研究棟	1	117	超低温フリーザー	パナソニック KM-DU34H1	100	650	1台
333	環境リスク研究棟	2	212	ディープフリーザー	パナソニック MDF-193(AT)	100	490	1台
334	環境リスク研究棟	2	212	超低温フリーザー	パナソニック KM-DU53Y1J	三相200	1,270	1台
335	環境リスク研究棟	2	212	超低温フリーザー	パナソニック KM-MU49H1J	100	130	1台
336	環境リスク研究棟	2	212	冷蔵庫	サンヨー・MEDICOOL MPR-311DR	100	260	1台
337	環境リスク研究棟	2	220	冷凍冷蔵庫	三菱 MR-31X	100	650kWh/月	1台
338	動物実験棟 I	1	107	ふ卵器	昭和フランキ・P-008B	100		6台、実験の進捗によって変動する
339	動物実験棟 I	1	107	ふ卵器	昭和フランキ・P-008B	100		6台、実験の進捗によって変動する
340	動物実験棟 I	1	107	冷蔵庫	SANYO・MEDICOOL	100		
341	動物実験棟 I	1	108	薬用保冷庫	SANYO・MPR-414F	100	540	
342	動物実験棟 I	1	108	薬用保冷庫	SANYO・MPR-414F	100	540	
343	動物実験棟 I	1	108	冷凍庫	サンヨー・MDF-236	100	115	
344	動物実験棟 I	1	151	冷凍庫	Panasonic・KM-MU49H1J	100	85	
345	動物実験棟 I	1	151	薬用保冷庫	SANYO・MEDICOOL	100	180	
346	動物実験棟 I	1	156	薬用保冷庫	SANYO・MPR-311DR	100	180	
347	動物実験棟 I	1	156	ふ卵器	昭和フランキ・P-008B	100		6台、実験の進捗によって変動する
348	動物実験棟 I	1	156	ふ卵器	昭和フランキ・P-008B	100		4台、実験の進捗によって変動する
349	動物実験棟 I	1	158	冷凍庫	Panasonic・KM-MU49H1J	100	85	
350	動物実験棟 I	1	158	冷凍庫	(日本フリーザー) CLN-52UD1	100	750	1台
351	動物実験棟 I	1	158	冷凍庫	(日本フリーザー) CLN-52UD1	100	750	1台
352	動物実験棟 I	6		ディープフリーザー	Panasonic・KM-DU34H1J	100	650	
353	動物実験棟 I	6		ふ卵器		100		1台、実験の進捗によって変動する
354	水環境保全再生研究ステーション 実験管理棟	1	106	電話交換機		100	300	
355	水環境実験施設	1	111	インキュベーター	EYELA MTI-203	100		配置図①
356	水環境実験施設	1	111	インキュベーター	TOMY CLE-405	100	1,250	配置図②
357	水環境実験施設	1	111	ダイアフラムポンプ	大晃機械工業EL-60	100	52	
358	水環境実験施設	1	444	タールインキュベーター	三菱電機 CN-25G	400	98/98	取り下げ
359	水環境実験施設	1	112	薬用冷蔵ショーケース	サンヨーメテック MPR-161D	100	113	配置図④
360	水環境実験施設	1	112	ダイアフラムポンプ	大晃機械工業EL-60	100	52	
361	水環境実験施設	1	113	ダイアフラムポンプ	大晃機械工業JDK-60	100	35	
362	水環境実験施設	1	113	クールインキュベーター	アズワン FCL-280	100	75	配置図⑤
363	水環境実験施設	1	443	タールインキュベーター	三菱電機 CN-25G	400	98/98	取り下げ
364	水環境実験施設	1	114	ダイアフラムポンプ	大晃機械工業JDK-60	100	35	
365	水環境実験施設	1	114	集中ろ過式小型魚類水生生物飼育装置	特注品	100		配置図⑦
366	水環境実験施設	1	114	小型循環式クーラー × 2台	ゼンスイ ZC-100a	100	95/112	配置図⑧ × 2台
367	水環境実験施設	1	114	低温恒温器	Nksystem LP-210-E(-CT)	100	125/300	配置図⑨
368	水環境実験施設	1	115	ダイアフラムポンプ	大晃機械工業JDK-60	100	35	
369	水環境実験施設	1	115	クールインキュベーター	三菱電機 CN-25C	100	98/98	配置図⑩
370	水環境実験施設	1	115	クールインキュベーター	アズワンFCL-280	100	75	配置図⑪
371	水環境実験施設	1	440	インキュベーター × 2台	サンヨー・MIR-553	400	322	取り下げ
372	水環境実験施設	1	110	冷凍機付インキュベーター	pHcbi MIR-554-PJ	100		配置図⑬
373	水環境実験施設	1	110	植物育成ラック	TOMY CR-400L	100	400	配置図⑭

仮設電源要求箇所一覧（想定）

※ 本部署は、グループ停電日に該当するものの対応 となります。

整番	施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
						(V)	(W)	
374	水環境実験施設	1	110	冷蔵庫	ハイセンス HRG13C	100	0.07/0.13	配置図⑮
375	水環境実験施設	1	110	カセットチューブポンプ ×12台	SMP-23AS	400	6	取り下げ
376	水環境実験施設	1	110	ダイアフラムプロ	TL-60	400	62	取り下げ
377	水環境実験施設	1	103	ダイアフラムプロ ×2台	大晃機械工業JDK-100	100	74	×2台
378	水環境実験施設	1	103	ダイアフラムプロ	大晃機械工業EL-60	400	52	取り下げ
379	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロー		100	50	配置図の①
380	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロー		100	200	配置図の②
381	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロー	試験浄化槽制御盤	三相200	1,300	配置図の②ポンプ(流調・ 循環・薬注)200V、0.4kW(3 台)+0.1kW
382	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロー		100	200	配置図の③
383	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロー	試験浄化槽制御盤	三相200	1,300	配置図の③ポンプ(流 調・循環・薬注)200V、 0.4kW(3台)+0.1kW
384	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロー		100	100	配置図の④
385	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロー		100	200	配置図の⑤
386	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロー	試験浄化槽制御盤	三相200	1,300	配置図の⑤ポンプ(流 調・循環・薬注)200V、 0.4kW(3台)+0.1kW
387	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロー ×2台		100	86	配置図の⑥ プロ72台(51W+35W)
388	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロー		100	100	配置図の⑦
389	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロー		100	32	配置図の⑧
390	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	UPS	OMRON POWLI BU50SW	100	65	
391	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	UPS	OMRON POWLI BU50SW	100	65	
392	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	散気ブロー	EcoMac120	100	86	
393	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	散気ブロー	EcoMac60	100	33	
394	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	制御盤 センサー付き		100	100	
395	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	制御盤 センサー付き		100	100	
396	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロー	FP-60 テクノ高槻 60L/min)	100	39	浄化槽CXP-5
397	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロー	FP-60 テクノ高槻 60L/min)	100	39	浄化槽CXP-5
398	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロー	XP-40(40L/min、テクノ高槻)	100	24	浄化槽CXP-5
399	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	浄化槽用ブロー	ecoMAC60	100	33	
400	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	処理水用冷蔵庫		100	60	

仮設電源要求箇所一覧（想定）

※ 本部は、グループ停電日に該当するものの対応 となります。

整番	施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
						(V)	(W)	
401	水環境保全再生研究ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	UPS	オムロンPOWLI U50SW	100	350	
402	水環境保全再生研究ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	浄化槽用ブロワ×3台	EcoMAC60×3台	100	99	3台
403	水環境保全再生研究ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	浄化槽用ブロワ×3台	EcoMAC30×3台	100	60	3台
404	水環境保全再生研究ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	処理水用冷蔵庫×2台	2台	100	120	2台
405	水環境保全再生研究ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	遠隔監視装置	DLS-300-KL	100	10	平均2.4VA以下
406	水環境保全再生研究ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	UPS	オムロンBA75T	100	600	
407	水環境保全再生研究ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	濁度センサー×2台	OPTEX TC-100×2台	100	40	2台分
408	水環境保全再生研究ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ORPセンサー×2台	2台	100	40	2台分
409	水環境保全再生研究ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	制御盤		100	100	
410	水環境保全再生研究ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	ガスアナライザー	VA-5000	100	350	
411	水環境保全再生研究ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	サンプリングユニット	VS-5000	100	150	
412	水環境保全再生研究ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	インキュベーター	EYELA-LTI1001ED	100	1,900	配置図の①
413	水環境保全再生研究ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	インキュベーター	サンヨー・MIR-553	100	322	配置図の②
414	水環境保全再生研究ステーション バイオ・エコ実験施設	1	-	インキュベーター	サンヨー・MIR-553	100	322	配置図の③
415	水環境実験施設	1	106	恒温器A×2台		100	1000	2台(アクアトロン106)電源切替時に自分たちで操作
416	水環境実験施設	1	106	恒温器B×1台	SIBATA	100	500	1台(アクアトロン106)電源切替時に自分たちで操作
417	水環境実験施設	1	106	スターラー×3台	ORIENTAL PSH425-401P	100	25	3台(アクアトロン106)電源切替時に自分たちで操作
418	水環境実験施設	1	106	マイクロチューブポンプ×6台	EYELA	100	40	6台(アクアトロン106)電源切替時に自分たちで操作
419	循環・廃棄物研究棟	2	292	ディープフリーザー	日本フリーズ・VT-78HC	100	1,500	ハイオクリンルーム前室 0.25/0.26
420	循環・廃棄物研究棟	2	292	冷蔵庫	日本フリーズ・UKS-3610DH	100	1,500	ハイオクリンルーム前室 36(=100V×15A×24h)
421	循環・廃棄物研究棟	2	292	冷蔵庫	日本フリーズ・KGT-4010HC	100	1,500	ハイオクリンルーム前室 0.15/0.15
422	循環・廃棄物研究棟	2	292	冷凍・冷蔵庫	SANYOメディクール	125	1,500	ハイオクリンルーム前室 45(=125V×15A×24h)
423	循環・廃棄物研究棟	2	292	冷蔵庫	日本フリーズ・KGT-4010HC	100	1,500	ハイオクリンルーム0.15/0.15
424	循環・廃棄物研究棟	2	293	バイオフリーザー(3台)	日本フリーズ・GS-3120HC	100	120	3台
425	循環・廃棄物研究棟	2	293	バイオメタリカルクーラー(3台)	日本フリーズ・UKS-5410DH	100	130	3台
426	研究本館Ⅲ	2	283	冷蔵庫	GALILEI・FMS-400GH	125	1,200	1台
427	研究本館Ⅲ	2	283	冷蔵庫	シャープ・SJ-PV40H	125	1,500	1台
428	研究本館Ⅲ	2		超低温フリーザー	日本フリーズ・VT-78	100	350	1台
429	研究本館Ⅲ	2		超低温フリーザー	パナソニック・MDF-193AT	100	1,500	1台
430	研究本館Ⅲ	2	284	冷凍庫	福島工業・FMF-501F	100	1,500	1台
431	研究本館Ⅲ	2	284	冷蔵庫/冷凍庫	福島工業・FMS-F304G	100	1,500	1台
432	研究本館Ⅲ	2	284	冷蔵庫	福島工業・FMS-504G	100	1,500	1台
433	RI棟	2	209	冷凍庫	CLN-30U	100	560(最大)	
434	環境遺伝子工学実験棟	1	103	冷凍庫	KM-DU73Y1J	200	0.66/0.74	
435	RI棟	2	207	低温インキュベーター	FUKUSHIMA MFU-2044(改) MFU-1331(改)	100	600(最大) 250(最大)	取り下げ

仮設電源要求箇所一覧（想定）

※ 本部は、グループ停電日に該当するものの対応となります。

整番	施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
						(V)	(W)	
436	RI棟	2	207	低温インキュベーター	FUKUSHIMA MFU-2041(電)	400	600(最大)	取り下げ
437	RI棟	2	207	大気気象器	LH-410SP	400	1650(最大)	取り下げ
438	RI棟	2	207	人工気象器	LPH-411S	400	2000(最大)	取り下げ
439	RI棟	2	208	インキュベーター	MIR-253	400	280(最大)	取り下げ
440	ポンプ棟	1		上水ポンプ		200	50KVA	
441	共通設備棟	2		SOINS50用UPS電源		100	75A(7.5KVA)	共通設備棟 I 期電気室 仮設切替盤に繋ぎ込み
442	共通設備棟	2		照明		100	3,700	
443	研究第2棟	2	229-1	CO2インキュベーター	IKEMOTO	100	450	下段のみ
444	研究第2棟	2	229-1	CO2インキュベーター	IKEMOTO	100	750	下段のみ
445	研究第2棟	2	229-1	冷凍冷蔵庫	サンヨー・MEDICOOL	100	300	
446	研究第2棟	2	229-1	冷凍冷蔵庫	日本フリーズ・KGT-4010HC	100	300	
447	研究第2棟	2	229-1	薬用冷蔵庫ショーケース	SANYO MPR-312D	100	180	
448	研究第2棟	2	229-1	超低温フリーズ	日本フリーズ・VT-208	100	490	
449	研究第2棟	2	229-2	超低温フリーズ	パナソニック・KM-DU53Y1	200	630	
450	研究第2棟	2	229-2	冷凍庫	日本フリーズ・GS-5263KHC	100	140	
451	研究第2棟	2	229-2	冷凍冷蔵庫	GE・TBJ14NA	100	600	
452	研究第2棟	2		フリーズ	MDF-U537D	100	330	
453	研究第2棟	2	227	超低温フリーズ	MDF-794AT-PJ	三相200	900	
454	研究第1棟	1	116	全自動製氷機	ホシザキ・IM-35M	100	210	配置図の①
455	研究第1棟	1	116	冷凍庫	ホシザキ・HF-180A3-ML	200	697	配置図の②
456	研究第1棟	1	116	冷凍庫	ホシザキ・HF-180A3-ML	200	697	配置図の③
457	研究第2棟	1	130	超伝導核磁気共鳴装置一分光計	日本電子(株)JNM-EGA600	400	3,000	取り下げ
458	環境リスク研究棟	1	117	①振とう機	PLECi	100	2000	部屋の外周をまわって反対側の壁コンセントに刺さっている
459	環境リスク研究棟	1	117	②振とう機	高崎科学器械	100	2000	
460	環境リスク研究棟	1	117	③振とう機	高崎科学器械	100	2000	
461	環境リスク研究棟	1	117	④インキュベーター	EYELA FLI-2010	100	2600	
462	環境リスク研究棟	1	115	⑤インキュベーター	日本フリーズ MC-8EF3	100	943	
463	環境リスク研究棟	1	112	⑧プロアポンプ		100	60	
464	環境リスク研究棟	1	112	⑨循環式飼育槽		100	1300	
465	環境リスク研究棟	1	111	⑪クロマトチャンバー	日本フリーズ MC	100	964	機器1台から100V x2
466	環境リスク研究棟	1	111	⑫クロマトチャンバー	日本フリーズ MC	100	1436	機器1台から100V x2
467	環境リスク研究棟	1	111	⑬インキュベーター	GALILEI LabLine	100	595	
468	環境リスク研究棟	1	111	⑰流水式曝露装置1号機C	柴田科学	100	1500	
469	環境リスク研究棟	1	111	⑱流水式曝露装置1号機C	冷却ファン	100	600	
470	環境リスク研究棟	1	111	㉑流水式曝露装置1号機B	冷却ファン	100	600	
471	環境リスク研究棟	1	111	㉒流水式曝露装置2号機	柴田科学	100	1500	
472	環境リスク研究棟	1	111	㉓流水式曝露装置6号機		100	1000	
473	環境リスク研究棟	1	111	㉔殺菌灯 1号機B	柴田科学	100	20	
474	環境リスク研究棟	1	111	㉕殺菌灯 1号機C	柴田科学	100	20	
475	環境リスク研究棟	1	111	㉖殺菌灯 2号機	柴田科学	100	20	
476	環境リスク研究棟	1	111	㉗ヒーター・ブロー1号機B用		100	1100	ヒーターとブローを1本のテーブルタップに接続
477	環境リスク研究棟	1	111	㉘ヒーター・ブロー1号機C用		100	1100	ヒーターとブローを1本のテーブルタップに接続
478	環境リスク研究棟	1	111	㉙ヒーター・ブロー2号機用		100	1600	ヒーターとブローを1本のテーブルタップに接続 (停電時のみ配置)
479	環境リスク研究棟	1	111	㉚ヒーター・ブロー6号機用		100	1600	ヒーターとブローを1本のテーブルタップに接続 (停電時のみ配置)
480	環境リスク研究棟	1	111	㉛パネルヒーター		100	134	パネルヒーター(52W)x4、LED光源(6W)を1本のテーブルタップに接続 (停電時のみ配置)
481	環境リスク研究棟	1	111	㉜パネルヒーター		100	134	パネルヒーター(52W)x4、LED光源(6W)を1本のテーブルタップに接続 (停電時のみ配置)

グループ別 仮設電源要求箇所一覧 (想定)

施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
					(V)	(W)	
グループ1 (全館停電)							
動物実験棟 I	4	402	超低温槽	日本フリーズ-CLN-35C	100	550	配置図の①
動物実験棟 I	4	402	超低温槽	Panasonic・KM-DU53Y1J	三相200	570	配置図の②
動物実験棟 I	4	402	超低温槽	日本フリーズ-CLN-32U	100	650	配置図の③
動物実験棟 I	4	402	メディカルフリーザー	サンヨー・MDF-U538D	100	320	配置図の④
動物実験棟 I	4	403	CO2インキュベーター	サンヨー・MCO-18AIC(UV)	100	310	配置図の⑤
動物実験棟 I	4	404	薬用冷蔵ショーケース	フジマカ'リイ・FMS-800GH-SR	100	219	配置図の⑥
動物実験棟 I	4	404	薬用冷蔵ショーケース	サンヨー・MPR-514	100	215	配置図の⑦
動物実験棟 I	4	404	冷蔵庫	シャープ・SJ-56S	100	150	配置図の⑧
動物実験棟 I	4	404	メディカルフリーザー	サンヨー・MDF-U332	100	120	配置図の⑨
動物実験棟 I	4	407	冷凍冷蔵庫	SHARP・SJ-310H	100	150	配置図③
動物実験棟 I	4	407	CO2細胞培養恒温器	池本理化10-0211	100	450	配置図(新規)
動物実験棟 I	5	507	冷凍冷蔵庫	SANYO・MPR-414F	100	130	配置図④
動物実験棟 I	5	507	バイオフリーザー	日本フリーズ-GS-1376HC	100	80	配置図⑤
動物実験棟 I	5	507	冷凍庫	日本フリーズ-GSS-3156HC	100	150	配置図⑥
動物実験棟 I	5	507	バイオメディカルフリーザー	SANYO・MDF-U537D	100	230	配置図⑦
動物実験棟 I	5	507	ディープフリーザー	SANYO・MDF-U32V	100	735	配置図⑧
動物実験棟 I	5	503	冷凍冷蔵庫	SANYO・MPR-414F	100	130	配置図⑨
動物実験棟 I	5	503	恒温培養器	池本理科・10-0212AG	100	750	配置図⑩
動物実験棟 I	5	504	薬用冷蔵ショーケース	SANYO・MPR-312D	100	225	配置図⑪
動物実験棟 I	5	504	薬用冷蔵庫	SANYO・MPR-414FR	100	130	配置図⑫
動物実験棟 I	5	504	テーブル冷蔵庫	Hoshizak・RT-210PNA	100	200	配置図⑬
動物実験棟 I	4	411		Thermo社 TSX600G	100	463	仮設電源1
動物実験棟 I	4	411		Thermo社 TSX600G	100	463	仮設電源2
動物実験棟 I	4	409		PHCbi MPR-450FH-PJ	100	350	仮設電源3
動物実験棟 I	5	501		SANYO MPR-162D	100	170	仮設電源4
動物実験棟 I	5	501	薬用冷蔵ショーケース	PHCbi MPR-S300H-PJ	100	175	仮設電源5
動物実験棟 I	5	501	薬用保冷库	PHCbi MPR-N450FH-PJ	100	350	仮設電源6
動物実験棟 I	5	501	バイオメディカルフリーザー	PHCbi MDF-MU539H-PJ	100	230	仮設電源7
動物実験棟 I	1	107	ふ卵器	昭和フランキ・P-008B	100		6台。実験の進捗によって変動する
動物実験棟 I	1	107	ふ卵器	昭和フランキ・P-008B	100		6台。実験の進捗によって変動する
動物実験棟 I	1	107	冷蔵庫	SANYO・MEDICOOL	100		
動物実験棟 I	1	108	薬用保冷库	SANYO・MPR-414F	100	540	
動物実験棟 I	1	108	薬用保冷库	SANYO・MPR-414F	100	540	
動物実験棟 I	1	108	冷凍庫	サンヨー・MDF-236	100	115	
動物実験棟 I	1	151	冷凍庫	Panasonic・KM-MU49H1J	100	85	
動物実験棟 I	1	151	薬用保冷库	SANYO・MEDICOOL	100	180	
動物実験棟 I	1	156	薬用保冷库	SANYO・MPR-311DR	100	180	
動物実験棟 I	1	156	ふ卵器	昭和フランキ・P-008B	100		6台。実験の進捗によって変動する
動物実験棟 I	1	156	ふ卵器	昭和フランキ・P-008B	100		4台。実験の進捗によって変動する
動物実験棟 I	1	158	冷凍庫	Panasonic・KM-MU49H1J	100	85	
動物実験棟 I	1	158	冷凍庫	(日本フリーズ)CLN-52UD1	100	750	1台
動物実験棟 I	1	158	冷凍庫	(日本フリーズ)CLN-52UD1	100	750	1台
動物実験棟 I	6		ディープフリーザー	Panasonic・KM-DU34H1J	100	650	
動物実験棟 I	6		ふ卵器		100		1台。実験の進捗によって変動する

グループ別 仮設電源要求箇所一覧 (想定)

施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
					(V)	(W)	
ナノ粒子健康影響実験棟	4		AC-2		三相200	5,500	送風のみ
ナノ粒子健康影響実験棟	5		AC-3		三相200	7,500	送風のみ
ナノ粒子健康影響実験棟	3	1303	CO ₂ 細胞培養恒温器	池本理化10-0211	100	450	配置図①
ナノ粒子健康影響実験棟	3	1303	冷凍冷蔵庫	東芝・GR-A22A	100	150	配置図②
ナノ粒子健康影響実験棟	1	1103	冷凍冷蔵庫	HIZAKI HRF-120XT	100	640	
ナノ粒子健康影響実験棟	1	1103	超低温フリーザー	pHcbi・MDF-DU300H-PJ	100	650	
ナノ粒子健康影響実験棟	1	1103	冷凍冷蔵庫	SHARP・SJ-23A	100	203	
ナノ粒子健康影響実験棟	1	1104	ダイヤフラムポンプ	VACUUBRAND MD 1 VARIO-SP	100	300	
生物環境調節実験施設	1		有圧ファン 2連		三相200	340	延長ケーブルのプラグ(4種、20A 250V)が接続できるよう(コネクタ)を設置してください。配置図の①
生物環境調節実験施設	1		有圧ファン 1連		三相200	170	同上 配置図の②
生物環境調節実験施設	2		有圧ファン 2連		三相200	340	同上 配置図の③
生物環境調節実験施設	2		有圧ファン 1連		三相200	170	同上 配置図の④
生物環境調節実験施設	2		4℃冷蔵庫	宮川科学EV200WR	100	210	配置図の⑤
生物環境調節実験施設	2	212	4℃冷蔵庫	日本フリーザー・NC-ME 18HC	100	120	医療用外劇物保管用 配置図の①
生物環境調節実験施設	2	212	-80℃冷凍庫	日本フリーザー・CLN-35C	100	520	配置図の②
生物環境調節実験施設	2	202A	4℃冷蔵庫	日本フリーザー・UKS-3610DHC	100	130	医療用外劇物保管用
生物環境調節実験施設	2	203	-80℃冷凍庫	パナソニック・MDF-193AT-PJ	100	410	203室HG5右側奥
生物環境調節実験施設	2	201	冷凍庫(-85℃)	日本フリーザー・CLN35C	100	550	仮設電源(配置図)の①
生物環境調節実験施設	2	201	冷蔵庫(4℃)	日本フリーザー・UKS-5000HC	100	120	仮設電源(配置図)の②
生物環境調節実験施設	2	201	冷凍庫(-20℃)	日本フリーザー・GS3120HC	100	120	仮設電源(配置図)の④
生物環境調節実験施設	2	201	冷凍庫(-85℃)	日本フリーザー・CL-322U	100	1,500	仮設電源(配置図)の⑤
生物環境調節実験施設	2	201	冷凍庫(-80℃)	日本フリーザー・VT-78	100	350	仮設電源(配置図)の⑥
生物環境調節実験施設	2	201	冷凍庫(-20℃)	パナソニック・KM-MU28H1	100	80	仮設電源(配置図)の⑦
生物環境調節実験施設	2	201	冷凍庫(-20℃)	日本フリーザー・GS3120HC	100	120	仮設電源(配置図)の⑧
生物環境調節実験施設	2	201	冷蔵庫(4℃)	日本フリーザー・UKS-3600	100	200	仮設電源(配置図)の⑨
生物環境調節実験施設	2	201	培養室A空調	空調	200		培養室A空調(コンセント含む)制御盤で調節
生物環境調節実験施設	2	201	培養室A 右側の培養棚(計4台)(照明)		200		培養室A手前に配電盤
生物環境調節実験施設	2	201	培養室A 左側の培養棚(計4台)(照明)		100		
生物環境調節実験施設	1	101		サンヨー・MPR414	100	600	仮設電源(2)
生物環境調節実験施設	1	101	フリーザー	日本フリーザー・GSS-3156HC	100	130	仮設電源(2)
生物環境調節実験施設	1	101	フリーザー	日本フリーザー・HC-5210HC	100	140	仮設電源(2)
生物環境調節実験施設	1	101	オートドライ	TOYO LIVING ED60型	100	3	仮設電源(2)
生物環境調節実験施設	1	101		アズワン ビッグドライデシケター SPB-V3	100	5	仮設電源(2)
生物環境調節実験施設	1	105	フリーザー	日本フリーザー・HC-5210HC	100	140	仮設電源(3)
生物環境調節実験施設	1	105	フリーザー	日本フリーザー・HC-5210HC	100	140	仮設電源(3)
生物環境調節実験施設	1	105	フリーザー	日本フリーザー・HC-5210HC	100	140	仮設電源(3)
生物環境調節実験施設	1	105	フリーザー	日本フリーザー・HC-5210HC	100	140	仮設電源(3)
生物環境調節実験施設	1	105	冷蔵庫	日立・R-S37VPAM	100	122	仮設電源(3)
生物環境調節実験施設	1		ビッグドライデシケター	アズワン ビッグドライデシケター SPB-V4	100	5	仮設電源(4)
生物環境調節実験施設	1		ビッグドライデシケター	アズワン ビッグドライデシケター SPB-V4	100	5	仮設電源(4)
生物環境調節実験施設	1	113	エアレーションポンプ×2		100	2W×2	仮設電源(7)
水環境実験施設	1	108	リアクター用ポンプ		100	15	①上段奥コンセント
水環境実験施設	1	108	リアクター用ポンプ		100	15	②上段奥コンセント
水環境実験施設	1	108	テーブルタップ	(ポンプ1台、YAMATO 温度調整機 CFA302)	100	1,000	③上段手前コンセント
水環境実験施設	1	108	テーブルタップ	(ポンプ2台、pH調整機1台)	125	500	④上段手前コンセント
水環境実験施設	1	108	大型スターラー	アズワン機器	100	100	⑧下段手前コンセント

グループ別 仮設電源要求箇所一覧 (想定)

施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
					(V)	(W)	
水環境実験施設	1	111	インキュベーター	EYELA MTI-203	100		配置図①
水環境実験施設	1	111	インキュベーター	TOMY CLE-405	100	1,250	配置図②
水環境実験施設	1	111	ダイアフラムプロフ	大晃機械工業EL-60	100	52	
水環境実験施設	1	112	薬用冷蔵ショーケース	サンヨーメディカルMPR-161D(100	113	配置図④
水環境実験施設	1	112	ダイアフラムプロフ	大晃機械工業EL-60	100	52	
水環境実験施設	1	113	ダイアフラムプロフ	大晃機械工業JDK-60	100	35	
水環境実験施設	1	113	クールインキュベーター	アズワン FCL-280	100	75	配置図⑤
水環境実験施設	1	114	ダイアフラムプロフ	大晃機械工業JDK-60	100	35	
水環境実験施設	1	114	集中ろ過式小型魚類水生生物飼育装置	特注品	100		配置図⑦
水環境実験施設	1	114	小型循環式クーラー ×2台	ゼンスイ ZC-100a	100	95/112	配置図⑧ ×2台
水環境実験施設	1	114	低温恒温器	Nksystem LP-210-E(-CT)	100	125/300	配置図⑨
水環境実験施設	1	115	ダイアフラムプロフ	大晃機械工業JDK-60	100	35	
水環境実験施設	1	115	クールインキュベーター	三菱電機 CN-25C	100	98/98	配置図⑩
水環境実験施設	1	115	クールインキュベーター	アズワンFCL-280	100	75	配置図⑪
水環境実験施設	1	110	冷凍機付インキュベーター	pHcbi MIR-554-PJ	100		配置図⑬
水環境実験施設	1	110	植物育成ラック	TOMY CR-400L	100	400	配置図⑭
水環境実験施設	1	110	冷蔵庫	ハイセンス HRG13C	100	0.07/0.13	配置図⑮
水環境実験施設	1	103	ダイアフラムプロフ ×2台	大晃機械工業JDK-100	100	74	×2台
水環境実験施設	1	106	恒温器A ×2台		100	1000	2台(アクアトロン106)電源切替時に自分たちで
水環境実験施設	1	106	恒温器B ×1台	SIBATA	100	500	1台(アクアトロン106)電源切替時に自分たちで
水環境実験施設	1	106	スターラー ×3台	ORIENTAL PSH425-401P	100	25	3台(アクアトロン106)電源切替時に自分たちで
水環境実験施設	1	106	マイクロチューブポンプ ×6台	EYELA	100	40	6台(アクアトロン106)電源切替時に自分たちで
環境放射線研究施設	1	102	-20℃冷凍室		三相200		低温庫制御盤に仮設電源引き込み
環境放射線研究施設	1	102	5℃冷蔵室		100/200 1φ3W		低温庫制御盤に仮設電源引き込み
環境放射線研究施設	1	102	冷凍庫	サンヨー・MDF-U730M	100	260	
環境放射線研究施設	1	102	冷蔵庫	日本フリーザー・NR-630F3	100	280	
ポンプ棟	1		上水ポンプ		200	50KVA	
共通設備棟	2		SOINS50用UPS電源		100	75A(7.5KVA)	共通設備棟 I 期電気室 仮設切替盤に繋ぎ込み
共通設備棟	2		照明		100	3,700	

グループ別 仮設電源要求箇所一覧 (想定)

施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
					(V)	(W)	
グループ2 (グループ1 全館停電含む)							
RI棟	1	101	一般冷蔵庫	シャープ・SJ-55W	100	200	仮設電源①震災研究エリア
RI棟	1	101	一般冷蔵庫	シャープ・SJ-14W	100	100	仮設電源②震災研究エリア
RI棟	1	101	一般冷蔵庫	シャープ・SJ-14W	100	100	仮設電源③震災研究エリア
RI棟	1	109	薬用冷凍冷蔵庫	FMS-F304G	100	375	配置図①(仮設電源109-①)
RI棟	2	209	冷凍庫	CLN-30U	100	560(最大)	
RI棟	2	207	低温インキュベーター	FUKUSHIMA MFU-1331(改)	100	250(最大)	上段の機械
環境遺伝子工学実験棟	2	206	冷凍庫	日本フリーザー	100	100	仮設電源①
環境遺伝子工学実験棟	2	212	一般冷蔵庫	富士通・ER46R	100	200	仮設電源①
環境遺伝子工学実験棟	1	103	一般冷蔵庫	Haier・JR-NF340A	100	200	仮設電源103-①
環境遺伝子工学実験棟	1	103	2ドア冷凍冷蔵庫	日本フリーザー・KGT-4010HC	100	150	仮設電源103-②
環境遺伝子工学実験棟	1	103	冷凍庫	KM-DU73Y1J	200	0.66/0.74	
環境遺伝子工学実験棟	1	106	マイバイオ (小型超低温槽)	NIHON FREEZER VT-208H	100	330	配置図② (仮設電源106-①)
環境遺伝子工学実験棟	1	107	冷凍冷蔵庫	Haier・JR-NF340A	100	366	配置図③ (仮設電源107-①)
環境遺伝子工学実験棟	1	116	薬用保冷库	pHcbi MPR-N450FH-PJ	100	350	配置図④ (仮設電源116-①)
環境遺伝子工学実験棟	1	109	薬用ショーケース	PHC・MPR-S300H-PJ	100	175	仮設電源109-②
環境遺伝子工学実験棟	1	110	一般冷蔵庫	Haier・JR-NF340A	100	200	仮設電源110-①
土壌環境実験棟	1	102	冷凍庫	日本フリーザー・MF-500HC	100	360	
土壌環境実験棟	2	-	冷凍庫 3台	PHcbi・MDF-U731M	100	250×3	3台
土壌環境実験棟	3	301	冷凍庫	パナソニック・KM-MU28H1J	100	80	
土壌環境実験棟	3	301	冷蔵庫	日本フリーザー・LKEXV-5400	100	140	
土壌環境実験棟	2		有圧ファン 2連		三相200	340	延長ケーブルのプラグ(4種、20A・250V)が接続できるようにコネクタを設置してください。
土壌環境実験棟	2		有圧ファン 1連		三相200	170	同上
土壌環境実験棟	2		ポータブルクーラー	IRIS OHYAMA IPA-3521GH	100	850×2	配置図⑦ 延長ケーブルのプラグ(2種・15A・125V)が接続できるようにコネクタを設置してください。
土壌環境実験棟	3	302	業務用冷凍冷蔵庫	フクシマガリレイGRN-092F	100	470	所在(配置)下図1左
土壌環境実験棟	3	305	業務用冷凍庫	日本フリーザー・GS-5210HC	100	190	所在(配置)下図2左中
土壌環境実験棟	3	305	メディカルクーラー	UKS-390HC	100	100	所在(配置)下図2左下
土壌環境実験棟	1	104	医療用ショーウィンドウ型冷蔵庫	SANYO・MPR-311DR	100	240	所在(配置)下図3
土壌環境実験棟	1	104	家庭用冷蔵庫	HITACHI R-BF28NA	100	160	所在(配置)下図3

グループ別 仮設電源要求箇所一覧 (想定)

施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
					(V)	(W)	
グループ3 (グループ1 全館停電含む)							
研究第1棟	2	205	冷凍冷蔵庫	日立 R-S38RPAM	100	310	
研究第1棟	2	205	薬品庫		100		
研究第1棟	1	116	全自動製氷機	ホシザキ・IM-35M	100	210	配置図の①
研究第1棟	1	116	冷凍庫	ホシザキ・HF-180A3-ML	200	697	配置図の②
研究第1棟	1	116	冷凍庫	ホシザキ・HF-180A3-ML	200	697	配置図の③
研究第1棟	1	-	各種NW機器	NW2007分電盤	単相200	50,000	仮設電源2
研究第1棟	1	-	エアコン2台	ダイキン・SZHP160KB	三相200	15,000	仮設電源2
研究第1棟	3	304	-20℃冷凍庫 パイオメディカルフリー	PHC株式会社・MDF-MU339H-PJ	100	100	-20℃冷凍庫 配置図①
研究第1棟	3	304	4℃冷蔵庫 薬用保冷库	フクシマガリレイ・FMS-304GU	100	163	4℃冷蔵庫 配置図②
研究第1棟	3	304	-80℃冷凍庫 超低温フリーザー	PHC株式会社・MDF-C8V1-PJ	100	450	-80℃冷凍庫 配置図③
研究第1棟	3	304	-20℃冷凍庫 冷凍庫	AQUA AQF-10CN(W)	100	61	-20℃冷凍庫 配置図④
研究第1棟	3	304	4℃冷蔵庫 薬用保冷库	MPR-N200SH	100	245	4℃冷蔵庫 配置図⑤
研究第1棟	2	206	電気冷凍冷蔵庫	日本フリーズ・KGT-4010HC	100	150	仮設電源(1)
研究第1棟	1	122	電気冷蔵庫	日本フリーズ・NC-ME18A	100	150	仮設電源(2)
研究第1棟	1	122	電気冷蔵庫	日本フリーズ・NC-ME18A	100	150	仮設電源(3)
研究第1棟	1	122	電気冷蔵庫	PHCBI MPR-S300H-PJ	100	130	仮設電源(4)
研究第1棟	2		電話交換機	-	三相200	9,500	配置図の①
研究第1棟	2		パッケージエアコン	-	三相200	10,000	配置図の②
研究第1棟	1		冷蔵庫	日立 RU-R10MF1	三相200	840	配置図の③
研究第1棟	1		冷凍庫	日立 RU-R20LF1	三相200	1,330	配置図の④
地球温暖化研究棟	3	307	超低温フリーザー	Phcbi MDF-DU502VH-PJ	三相200	890	配置図の①
地球温暖化研究棟	3	307	パイオメディカルフリーザー	パナソニック KM-MU28H1J	100	80	配置図の②
地球温暖化研究棟	3	307	冷凍冷蔵庫	シャープ SJ-PW42W	100	150	配置図の③
地球温暖化研究棟増築部	1		各種NW機器新NW用分電盤		200	40KVA	仮設電源3
地球温暖化研究棟増築部	1		各種NW機器新NW用分電盤		100	1125VA	仮設電源3
地球温暖化研究棟増築部	1		エアコン 2台		三相200		(仮設電源3)アイルキャッピング内空調

グループ別 仮設電源要求箇所一覧 (想定)

施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
					(V)	(W)	
グループ4 (グループ1 全館停電含む)							
生態系実験施設	1		ディープフリーザー	レプコ	100	580	仮設電源⑤
生態系実験施設	1		ディープフリーザー	スターリング	100	380	仮設電源⑥
生態系実験施設	1		バイオマルチクーラー	日本フリーザーKGT-4010HC	100	150	仮設電源⑦
生態系実験施設	1		自動保冷库	ブルックス	三相200	40KVA	⑧屋外接続盤設置 電源切替時に立ち合い
環境保健研究棟	1		バイオフリーザー	日本フリーザー・GS5210HC	100	140	仮設電源①
環境保健研究棟	1		ディープフリーザー	レプコ	200	580	仮設電源②
環境保健研究棟	1		ディープフリーザー	サンヨー・MDF394	100	1,500	仮設電源③
環境保健研究棟	1		インキュベーター	サンヨー・MIR553	100	300	仮設電源④
水質水理実験棟	1	M-102-4	冷凍冷蔵庫	東芝・ERE25A	100	90	配置図 NO.1
水質水理実験棟	1	M-102-4	冷蔵庫	ワールプール	100	200	配置図 NO.2
水質水理実験棟	1	M-102-5	冷凍冷蔵庫	サンヨー・MPR-414F	100	540	配置図 NO.3
水質水理実験棟	1	-	大型冷蔵庫	日本医化器械	100	500(推定)	配置図 NO.4
水質水理実験棟	1	-	大型冷蔵庫	日本医化器械	100	500(推定)	配置図 NO.5
水質水理実験棟	1	-	ベンチ型冷凍庫	サンヨー・MDF-436	100	210	配置図 NO.6
水質水理実験棟	1	-	小型冷凍庫	ナショナル・NR-RP12N1-H	100	130	配置図 NO.7
水質水理実験棟	1	-	ベンチ型冷凍庫	サンヨー・MDF-436	100	210	配置図 NO.8
水質水理実験棟	1	-	ベンチ型冷凍庫	パナソニック・MDP-437PJ	100	210	配置図 NO.9
水質水理実験棟	1	-	縦型冷蔵庫	三洋 MPR-311D	100	180	配置図 NO.10
水質水理実験棟	1	-	超低温フリーザ	パナソニック・ベンチ型	100	370	配置図 NO.11
水質水理実験棟	1	-	縦型冷凍庫	パナソニック・KM-MU28H1J	100	80	配置図 NO.12
水質水理実験棟	1	-	ベンチ型冷凍庫	サンヨー・MDF-436	100	210	配置図 NO.13
水質水理実験棟	1	-	冷凍庫	グイオン・LBF5AS	100	140	配置図 NO.14
水質水理実験棟	1	-	冷凍庫	サンデン・SH-700XB	100	122	配置図 NO.15
水質水理実験棟	1	M-102-1	小型冷蔵庫	ナ・NR-PZ12A1	100	150	配置図 NO.16
水質水理実験棟	1	M-102-1	ベンチ型冷凍庫	サンヨー・MDF436	100	210	配置図 NO.17
水質水理実験棟	1	M-102-1	ベンチ型冷凍庫	サンヨー・MDF436	100	210	配置図 NO.18
水質水理実験棟	1	M-102-1	人工気象器	日本医化器械製作所・LH-60FL12-DT	100	650	配置図 NO.23
水質水理実験棟	1	M-102-1	人工気象器	日本医化器械製作所・LH-60FL12-DT	100	650	配置図 NO.24
水質水理実験棟	1	M-102-1	培養庫	EYELA MTI-202	100	1,800	配置図 NO.25
水質水理実験棟	1	M-102-1	冷凍庫	サンヨー・MDF-U537D	100	286	配置図 NO.26
水質水理実験棟	1	M-102-1	冷蔵庫	日本フリーザー・UKS-5410DH	100	130	配置図 NO.27
水質水理実験棟	1	M-101	人工気象器	日本医化器械製作所・LH-60FL12-DT	100	650	配置図 NO.29
水質水理実験棟	1	M-101	人工気象器	日本医化器械製作所・LH-55-RD	100	450	配置図 NO.30
水質水理実験棟	1	M-101	培養庫	Eyela・MTI-1000	100	1,800	配置図 NO.31
環境生物保存棟	1	106	保冷库	サンヨー・MPR-214FS	100	250	図中記号① 5°C/-20°C
環境生物保存棟	1	106	保冷库	サンヨー・MPR-311H	100	180	図中記号② 表示なし(4°C)
環境生物保存棟	1	108	超低温フリーザ	Panasonic KM-DU34H1J	100	650	図中記号③ -80°C
環境生物保存棟	1	108	フリーザ	日本フリーザー・GS-3120HC	100	120	図中記号④ -20°C
環境生物保存棟	1	108	保冷库	日本フリーザー・UKS-3600 BF311A	100	220	図中記号⑤ 表示なし(5°C)
環境生物保存棟	1	108	フリーザ	日本フリーザー・GS-5210HC	100	140	図中記号⑥ -28°C、108部屋ドアの開
環境生物保存棟	1	108	フリーザ	日本フリーザー・GS-3120HC	100	120	図中記号⑦ -30°C
環境生物保存棟	2	205	フリーザ	朝日ライフサイエンス・ALS-657HC	100	5A(定格) 15A(ブレーカ容量)	図中記号⑧ -20°C
環境生物保存棟	2	217	薬用保冷库	パナソニック・MPR-215FS	100	240	図中記号⑨ 5°C/-30°C
環境生物保存棟	2	217	バイオメディカルフリーザー	パナソニック・KM-MU49H1J	100	130	図中記号⑩ -30°C

グループ別 仮設電源要求箇所一覧 (想定)

施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
					(V)	(W)	
環境生物保存棟	2	217	ハイオメディカルクーラー	日本フリーズ・ UKS-5410DHC	100	130	図中記号① 5°C 217室ドアの開
環境生物保存棟	2	220	光合成インキュベータ	ADVANTEC PEL-2160	100	3,500	図中記号② 左側手 前から1台目、上側のみ
環境生物保存棟	2	220	マルチインキュベータ	EYELA MTI-202B	100	1,750	図中記号③ 右側奥から2台 目19.0/18.0/17.5/15/12.5°C
環境生物保存棟	2	220	Bio-Shaker	TAITEC BR-300LF	100	2,000	図中記号④ 20°C設定、実際は15°C 220室を循環する送風機希望 トア 開閉
環境生物保存棟	2	206前	保冷库内照明用ユニット		100	不明	図中記号⑤ 単相 100V、接地極付 蛍
環境生物保存棟	2	206前	冷蔵ショーケース	サンヨー・MPR-312D	100	180	図中記号⑥ 4°C
環境生物保存棟	2	211	LED照明用コントローラ		100	不明	図中記号⑦ 単相100V、接地極付
環境生物保存棟	2	208	2連式光合成インキュベータ	日本医化・LH-320LED-ICM Mid	100	1200	図中記号⑧ IN01 24°C/IN02 24°C
環境生物保存棟	2	208	2連式光合成インキュベータ	日本医化・LH-320LED-ICM Mid	100	1200	図中記号⑨ IN03 24°C/IN04 22°C
環境生物保存棟	2	208	2連式光合成インキュベータ	日本医化・LH-320LED-ICM Mid	100	1200	図中記号⑩ IN07 25°C/IN08 22°C
環境生物保存棟	2	208	2連式光合成インキュベータ	日本医化・LH-320LED-ICM Mid	100	1200	図中記号⑪ IN09 22°C/IN10 22°C
環境生物保存棟	2	208	2連式光合成インキュベータ	日本医化・LH-320LED-ICM Hi	100	1350	図中記号⑫ IN11 37°C/IN12
環境生物保存棟	3	305	ハイオメディカルフリーズ	サンヨー・MDF-U539	100	260	図中記号⑬ -30°C
環境生物保存棟	3	305	保冷库	日本フリーズ・USK-5410DH	100	130	図中記号⑭ 4°C
環境生物保存棟	3	306	人工気象器	日本医化器械製作所 LH241S	100	200	図中記号⑮ 20°C
環境生物保存棟	3	306	高温インキュベータ	EYELA FLI-2000	100	2,300	図中記号⑯ 25°C
環境生物保存棟	3	306	ハイオメディカルフリーズ	Panasonic・MDF-U539	100	190	図中記号⑰ -30°C
環境生物保存棟	3	306	ハイオメディカルフリーズ	Panasonic KM-MU49H1J	100	130	図中記号⑱ -30°C
環境生物保存棟 I	2	206	自家発電と電気系統が異なる。				空調停止 図中黄色
環境生物保存棟 I	2	207					自家発電による供給 20°C
環境生物保存棟 I	2	208					自家発電による供給 20°C
環境生物保存棟 I	2	211					自家発電による供給 5°C
環境生物保存棟 I	2	212					自家発電による供給 12°C
環境生物保存棟 I	2	213					自家発電による供給 15°C
環境生物保存棟 I	2	214					自家発電による供給 20°C
環境生物保存棟 I	2	215	自家発電と電気系統が異なる。				空調停止 図中黄色
環境生物保存棟 II	2	219					空調をお願いします 22°C
環境生物保存棟 II	3	302					空調をお願いします 4°C

グループ別 仮設電源要求箇所一覧 (想定)

施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
					(V)	(W)	
グループ5 (グループ1 全館停電含む)							
研究第2棟	3	315	冷凍庫	日本フリーザー・GS5210HC	100	140	仮設電源の番号:1
研究第2棟	3	315	冷凍庫	日本フリーザー・GS5210HC	100	140	仮設電源の番号:2
研究第2棟	3	315	冷凍庫	日本フリーザー・GS5210HC	100	140	仮設電源の番号:3
研究第2棟	3	315	冷凍庫	パナソニック・MDF-237-PJ	100	120	仮設電源の番号:4
研究第2棟	3	315	冷蔵庫	日本フリーザー・UKS550HC	100	100	仮設電源の番号:5
研究第2棟	3	315	冷蔵庫	パナソニック・NR-B253T	100	139	仮設電源の番号:6
研究第2棟	1	125	-20℃冷凍庫 バイオメディカルフリーザー	PHCbi MDF-U339	100	180	-20℃冷凍庫 配置図の①
研究第2棟	1	125	4℃冷蔵庫 薬品保冷库	Fukushima・FMS-504G	100	220	4℃冷蔵庫 配置図の②
研究第2棟	1	125	-20℃冷凍庫 バイオフィリーザー	日本フリーザー・GS-1356HC	100	90	-20℃冷凍庫 配置図の③
研究第2棟	1	125	-80℃冷凍庫 小型超低温槽	PHCbi MDF-DC202VH	100	410	-80℃冷凍庫 配置図の④
研究第2棟	2	219	バイオメディカルクーラー	日本フリーザー・UKS-5410DH	100	130	配置図の⑥
研究第2棟	2	219	バイオメディカルフリーザー	KM-MU49H1J	100	130	配置図の⑦
研究第2棟	2	219	メディカルフリーザー	FMF-500FD	100	510	配置図の⑧
研究第2棟	2	219	クロマトチャンバー	MC-20EC	100	210	配置図の⑨
研究第2棟	2	219	バイオメディカルフリーザー	MDF-U537	100	330	配置図の⑩
研究第2棟	2	219	超低音フリーザ	MDF-U384	100	830	配置図の⑪
研究第2棟	2	219	超低音フリーザ	VT-78HC	100	250	配置図の⑫
研究第2棟	2	219	冷蔵冷凍庫	SHARP SJ-WA35P	100	200	配置図の⑬
研究第2棟	2	219	冷蔵冷凍庫	Panasonic NR-B18C1-K	100	120	配置図の⑭
研究第2棟	2	228	冷蔵庫	EV-190N	100	340	白 縦型 ①
研究第2棟	2	228	冷凍庫	MDF-MU539H-PJ	100	230	白 縦型 ②
研究第2棟	2	228	低温フリーザー	MDF-393AT	100	870	白 横型 ③
研究第2棟	2	228	冷蔵庫	MPR-311D(H)	100	260	白 縦型 ④
研究第2棟	1	144	冷凍庫	日本フリーザー・VT-78	100	350	廊下(144室と145室の間に設置)
研究第2棟	1	144	冷凍冷蔵庫	シャープ・SJ-WA35E	100	200	
研究第2棟	3	314	バイオフィリーザー	日本フリーザー GS-3120H	100	190	所在(配置)次頁図4右
研究第2棟	3	314	業務用冷凍庫	日本フリーザー・UKS-3610DHC	100	130	所在(配置)次頁図4上
研究第2棟	2	229-1	CO2インキュベーター	IKEMOTO	100	450	下段のみ
研究第2棟	2	229-1	CO2インキュベーター	IKEMOTO	100	750	下段のみ
研究第2棟	2	229-1	冷凍冷蔵庫	サンヨー・MEDICOOL	100	300	
研究第2棟	2	229-1	冷凍冷蔵庫	日本フリーザー・KGT-4010HC	100	300	
研究第2棟	2	229-1	薬用冷蔵庫ショーケース	SANYO MPR-312D	100	180	
研究第2棟	2	229-1	超低温フリーザー	日本フリーザー・VT-208	100	490	
研究第2棟	2	229-2	超低温フリーザー	パナソニック・KM-DU53Y1	200	630	
研究第2棟	2	229-2	冷凍庫	日本フリーザー・GS-5263KHC	100	140	
研究第2棟	2	229-2	冷凍冷蔵庫	GE・TBJ14NA	100	600	
研究第2棟	2		フリーザー	MDF-U537D	100	330	
研究第2棟	2	227	超低温フリーザー	MDF-794AT-PJ	三相200	900	
研究第2棟	3	320	フリーザー	日本フリーザー・GS-5203KHC	100	140	仮設電源(5)
研究第2棟	3	320		サンヨー・MPR414	100	600	仮設電源(5)
研究第2棟	3	320	ドライホーイ	iuchi ND-4	100	3	仮設電源(5)
研究第2棟	2	223	照明付インキュベーター	EYELA・FLI-2000A	100	2,500	仮設電源(6)(配電盤から直結)定格消費
環境リスク研究棟	4	408	ディープフリーザー	日本フリーザー・VT-208HC	100	420	
環境リスク研究棟	4	422		Thermo scientific	100	100	

グループ別 仮設電源要求箇所一覧 (想定)

施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
					(V)	(W)	
環境リスク研究棟	4	422		Panasonic	100	100	
環境リスク研究棟	2	219	冷蔵庫	サンヨーMPR161D(H)	100	130	仮設電源(3)-①
環境リスク研究棟	2	219	冷蔵庫	三菱 MR-31B	100	115	仮設電源(3)-①
環境リスク研究棟	1	106	冷凍冷蔵庫	ナショナル NR-B26F2-H	100	45kWh/月 (約90W)	
環境リスク研究棟	1	106	ディープフリーザー	パナソニックMDF-437-PJ	100	170	
環境リスク研究棟	1	109	マグネットポンプ	レイシー RMD-201	100	40	1台
環境リスク研究棟	1	109	紫外線殺菌灯	カミハタ ターボツイストZ36W	100	38	1台
環境リスク研究棟	1	109	クーラー	レイシー LX-120EXA	100	240	1台
環境リスク研究棟	1	109	サーモコントローラー	レイシー TC-100	100	400-1000	1台
環境リスク研究棟	1	109	鑑賞魚用ヒーター	コトブキ工業	100	300	1台
環境リスク研究棟	1	110	海水循環ポンプ	ニッソー・SQ-05S	100	12	2台
環境リスク研究棟	1	110	海水クーラ	効工工業・TK-60	100	冷凍機入力130W、 冷凍機出力60W、ファ	1台
環境リスク研究棟	1	117	超低温フリーザー	パナソニック KM-DU34H1	100	650	1台
環境リスク研究棟	2	212	ディープフリーザー	パナソニック MDF-193(AT)	100	490	1台
環境リスク研究棟	2	212	超低温フリーザー	パナソニック KM-DU53Y1J	三相200	1,270	1台
環境リスク研究棟	2	212	超低温フリーザー	パナソニック KM-MU49H1J	100	130	1台
環境リスク研究棟	2	212	冷蔵庫	サンヨー-MEDICOOL MPR-311DR	100	260	1台
環境リスク研究棟	2	220	冷凍冷蔵庫	三菱 MR-31X	100	650kWh/月	1台
環境リスク研究棟	1	117	①振とう機	PLECi	100	2000	部屋の外周をまわって 反対側の壁コンセ
環境リスク研究棟	1	117	②振とう機	高崎科学器械	100	2000	
環境リスク研究棟	1	117	③振とう機	高崎科学器械	100	2000	
環境リスク研究棟	1	117	④インキュベータ	EYELA FLI-2010	100	2600	
環境リスク研究棟	1	115	⑤インキュベータ	日本フリーザ MC-8EF3	100	943	
環境リスク研究棟	1	112	⑧フロアポンプ		100	60	
環境リスク研究棟	1	112	⑨循環式飼育槽		100	1300	
環境リスク研究棟	1	111	⑪クロマトチャンバー	日本フリーザ MC	100	964	機器1台から100V x2
環境リスク研究棟	1	111	⑫クロマトチャンバー	日本フリーザ MC	100	1436	機器1台から100V x2
環境リスク研究棟	1	111	⑬インキュベータ	GALILEI LabLine	100	595	
環境リスク研究棟	1	111	⑰ 流水式曝露装置1号機C	柴田科学	100	1500	
環境リスク研究棟	1	111	⑱ 流水式曝露装置1号機C	冷却ファン	100	600	
環境リスク研究棟	1	111	⑲ 流水式曝露装置1号機B	冷却ファン	100	600	
環境リスク研究棟	1	111	⑳ 流水式曝露装置2号機	柴田科学	100	1500	
環境リスク研究棟	1	111	㉑ 流水式曝露装置6号機		100	1000	
環境リスク研究棟	1	111	㉒ 殺菌灯 1号機B	柴田科学	100	20	
環境リスク研究棟	1	111	㉓ 殺菌灯 1号機C	柴田科学	100	20	
環境リスク研究棟	1	111	㉔ 殺菌灯 2号機	柴田科学	100	20	
環境リスク研究棟	1	111	㉕ ヒーター・ブLOWER-1号機B用		100	1100	ヒーターとブLOWERを1本のテーブル タップに接続 (停電時のみ配置)
環境リスク研究棟	1	111	㉖ ヒーター・ブLOWER-1号機C用		100	1100	ヒーターとブLOWERを1本のテーブル タップに接続 (停電時のみ配置)
環境リスク研究棟	1	111	㉗ ヒーター・ブLOWER-2号機用		100	1600	ヒーターとブLOWERを1本のテーブル タップに接続 (停電時のみ配置)
環境リスク研究棟	1	111	㉘ ヒーター・ブLOWER-6号機用		100	1600	ヒーターとブLOWERを1本のテーブル タップに接続 (停電時のみ配置)
環境リスク研究棟	1	111	㉙ パネルヒーター		100	134	パネルヒーター(32W)x4、LED光源 (6W)を1本のテーブルタップに接続 (停電時のみ配置)
環境リスク研究棟	1	111	㉚ パネルヒーター		100	134	パネルヒーター(32W)x4、LED光源 (6W)を1本のテーブルタップに接続 (停電時のみ配置)
環境リスク研究棟	1	111	㉛ パネルヒーター		100	134	パネルヒーター(32W)x4、LED光源 (6W)を1本のテーブルタップに接続 (停電時のみ配置)
環境リスク研究棟	1	111	㉜ パネルヒーター		100	134	パネルヒーター(32W)x4、LED光源 (6W)を1本のテーブルタップに接続 (停電時のみ配置)
環境リスク研究棟	1	111	㉝ パネルヒーター		100	134	パネルヒーター(32W)x4、LED光源 (6W)を1本のテーブルタップに接続 (停電時のみ配置)
環境リスク研究棟	1	111	㉞ パネルヒーター		100	134	パネルヒーター(32W)x4、LED光源 (6W)を1本のテーブルタップに接続 (停電時のみ配置)
環境リスク研究棟	1	111	㉟ パネルヒーター		100	134	パネルヒーター(32W)x4、LED光源 (6W)を1本のテーブルタップに接続 (停電時のみ配置)

グループ別 仮設電源要求箇所一覧 (想定)

施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
					(V)	(W)	
環境リスク研究棟	1	111	㉔顕微鏡		100	15	
環境リスク研究棟	1	111	㉕顕微鏡	Leica	100	50	
環境リスク研究棟	1	113	㉓ライトボックス	Leica	100	12	
環境リスク研究棟	1	113	㉒恒温チャンバー C1	NKsystem LP-300F-F4	100	550	
環境リスク研究棟	1	113	㉑恒温チャンバー C2	NKsystem LP-350-E	100	350	
環境リスク研究棟	1	113	㉑スターラー	nissei ヨウカイくん	100	60	
環境リスク研究棟	1	113	㉒インキュベータ	PHCbi MIR-554	100	430	
環境リスク研究棟	1	113	㉑恒温チャンバー	LP-340-E	100	470	
環境リスク研究棟	1	113	㉑ヒーター・プロアポンプ		100	365	180W x2(ヒーター)、2.5W x2(プロアポンプ)をテーブルタップ1本に接続
環境リスク研究棟	1	113	㉑プロアポンプ		100	17	8.5W x2をテーブルタップに接続

グループ別 仮設電源要求箇所一覧 (想定)

施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
					(V)	(W)	
グループ6 (グループ1 全館停電含む)							
研究本館Ⅲ	2	282	冷凍庫	パナソニックKM-DU73Y1J	三相200	660	仮設電源①
研究本館Ⅲ	2		冷凍庫	パナソニックKM-DU73Y1J	三相200	660	仮設電源②
研究本館Ⅲ	2	281	冷蔵庫	東芝 GR-A15AI	100	112	仮設電源③
研究本館Ⅲ	2	287	CO2インキュベーター	PHCbi MCO-230AICUV-P	100	400	配置図の①
研究本館Ⅲ	2	287	CO2インキュベーター	PHCbi MCO-170AIC-PJ	100	350	配置図の②
研究本館Ⅲ	2	287	冷蔵冷凍庫	富士通 ER-F46W-H	100	300	配置図の③
研究本館Ⅲ	2	286	バイオメディカルフリーザー	Panasonic MDF-437-PJ	100	300	配置図の④
研究本館Ⅲ	2	286	バイオメディカルフリーザー	Panasonic MDF-437-PJ	100	300	配置図の⑤
研究本館Ⅲ	2	283	冷蔵庫	GALILEI・FMS-400GH	125	1,200	1台 36(=125V×12A×24h)
研究本館Ⅲ	2	283	冷蔵庫	シャープ・SJ-PV40H	125	1,500	1台45(=125V×15A×24h)
研究本館Ⅲ	2		超低温フリーザー	日本フリーザー・VT-78	100	350	1台 8.4(=100V×3.5A×24h)
研究本館Ⅲ	2		超低温フリーザー	パナソニック・MDF-193AT	100	1,500	1台 36(=100V×15A×24h)
研究本館Ⅲ	2	284	冷凍庫	福島工業・FMF-501F	100	1,500	1台 36(=100V×15A×24h)
研究本館Ⅲ	2	284	冷蔵庫/冷凍庫	福島工業・FMS-F304G	100	1,500	1台 36(=100V×15A×24h)
研究本館Ⅲ	2	284	冷蔵庫	福島工業・FMS-504G	100	1,500	1台 36(=100V×15A×24h)
エコチル試料保存棟	1		ディープフリーザー(9台)	(レブコ)ULT2586-10HD	200	950×9	⑨⑩⑪⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑳ 同一機種9台
エコチル試料保存棟	1		ディープフリーザー(6台)	(レブコ)UXF60086D	200	900×6	⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕ 同一機種6台
エコチル試料保存棟	1		ディープフリーザー(5台)	(スターリング)SU780UE	100	380×5	㉖㉗㉘㉙㉚ 同一機種5台
エコチル試料保存棟	1		ディープフリーザー(4台)	(レブコ)RLE60086D	100	580×4	㉛㉜㉝㉞ 同一機種4台
エコチル試料保存棟	1		ディープフリーザー(10台)	(Thermo)TDE60086FD	200	500×10	㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹ 同一機種10台
循環・廃棄物研究棟	2	293	超低温フリーザ	PHCbi/MDF-C8V1	100	420	
循環・廃棄物研究棟	1	186	送風機	ACU-12 EPC-1 動力制御盤	三相200	-	
循環・廃棄物研究棟	1	186	電気ヒーター	ACU-12 EPC-1 動力制御盤	三相200	-	
循環・廃棄物研究棟	1	186	冷凍機	RU-12 EPC-1 動力制御盤	三相200	2,300	
循環・廃棄物研究棟	1	186	除湿機	DH-12 EPC-1 動力制御盤	三相200	-	
循環・廃棄物研究棟	1	186	送風機	ACU-11 EPC-1 動力制御盤	200	-	
循環・廃棄物研究棟	1	186	電気ヒーター	ACU-11 EPC-1 動力制御盤	200	-	
循環・廃棄物研究棟	1	186	冷凍機	RU-11 EPC-1 動力制御盤	200	2,300	
循環・廃棄物研究棟	1	186	除湿機	DH-11 EPC-1 動力制御盤	200	-	
循環・廃棄物研究棟	2	293	送風機	ACU-41 EPC-4 動力制御盤	三相200	-	
循環・廃棄物研究棟	2	293	電気ヒーター	ACU-41 EPC-4 動力制御盤	三相200	-	
循環・廃棄物研究棟	2	293	冷凍機	RU-41 EPC-4 動力制御盤	三相200	1,600	
循環・廃棄物研究棟	2	283	キセノン促進試験機	Q-LAB Xe-1	単相200	2500	配置図の⑥ *10/18.1/31両日
循環・廃棄物研究棟	1	189	ガスカウンタ	BPC-G0	100	12	4台 アングルA中段
循環・廃棄物研究棟	1	189	スターラー	VPS-200B	100	200	2台 アングルA中段
循環・廃棄物研究棟	1	189	ダイヤフラム式ポンプ	Q-100-VF-P-S	100	10	2台 アングルA上段
循環・廃棄物研究棟	1	189	恒温循環水槽	NTT-20G	100	1,100	1台 アングルA下段
循環・廃棄物研究棟	1	189	恒温循環水槽	NTT-20G	100	1,100	1台 アングルC下段
循環・廃棄物研究棟	1	189	シェーカー	As One MSI-60	100	400	3台 机
循環・廃棄物研究棟	1	189	ハンディポンプ(青)		100	4	2台 アングルC中段
循環・廃棄物研究棟	1	189	ATTO ペリスタポンプ		100	12	2台 アングルC中段
循環・廃棄物研究棟	1	189	インキュベーター	WI-50	100	200	1台 アングルC中段
循環・廃棄物研究棟	1	189	スターラー	HVDN-L	100	15	1台 アングルC中段
循環・廃棄物研究棟	1	189	ダイヤフラム式ポンプ	Q-100-VF-P-S	100	10	2台 アングルC下段上 下段(上に1台、下は2 台あるが1台のみ使用)

グループ別 仮設電源要求箇所一覧 (想定)

施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
					(V)	(W)	
循環・廃棄物研究棟	1	186	超低温フリーザー	PHCbi・MDF-C8V1-PJ	100	310	配置図①
循環・廃棄物研究棟	2	292	ディープフリーザー	日本フリーザー・VT-78HC	100	1,500	ハイクリーンルーム前室 0.25/0.26
循環・廃棄物研究棟	2	292	冷蔵庫	日本フリーザー・UKS-3610DH	100	1,500	ハイクリーンルーム前室 36(=100V×15A×
循環・廃棄物研究棟	2	292	冷蔵庫	日本フリーザー・KGT-4010HC	100	1,500	ハイクリーンルーム前室 0.15/0.15
循環・廃棄物研究棟	2	292	冷凍・冷蔵庫	SANYOメディクール	125	1,500	ハイクリーンルーム前室 45(=125V×15A×
循環・廃棄物研究棟	2	292	冷蔵庫	日本フリーザー・KGT-4010HC	100	1,500	ハイクリーンルーム 0.15/0.15
循環・廃棄物研究棟	2	293	バイオフリーザー(3台)	日本フリーザー・GS-3120HC	100	120	3台
循環・廃棄物研究棟	2	293	バイオメディカルクーラー(3台)	日本フリーザー・UKS-5410DH	100	130	3台
タイムカプセル棟	2	113	冷凍庫	パナソニック・KM-MU28H1J	100	180	仮設電源2-1 1
タイムカプセル棟	2	113	保冷库	PHC株式会社MPR-1411-PJ	100	330	仮設電源2-1 2
環境試料タイムカプセル棟	2	113	大型フリーザー	日本フリーザー・UKS-5000HC	100	120	仮設電源2-1 3
環境試料タイムカプセル棟	2	113	大型フリーザー	日本フリーザー・GS-5203KHC	100	140	仮設電源2-1 4
環境試料タイムカプセル棟	2	113	防爆冷蔵庫	日本フリーザー・EP-400	100	275	仮設電源2-1 5
環境試料タイムカプセル棟	2	113	防爆冷蔵庫	日本フリーザー・EP-400	100	275	仮設電源2-1 6
環境試料タイムカプセル棟	1	105	大型冷蔵庫	日本フリーザー・KGT-4010HC	100	150	仮設電源2-2 7
環境試料タイムカプセル棟	1	105	大型冷蔵庫	サンヨー・MDF-U33V	100	670	仮設電源2-2 8
環境試料タイムカプセル棟	1	105	大型冷蔵庫	パナソニック・KM-DU53Y1J	200	570	仮設電源2-2 9
環境試料タイムカプセル棟	1	103	インキュベーター	NAPCO	100	600	仮設電源(103室)1
環境試料タイムカプセル棟	1	103	CO ₂ インキュベーター(2台)	SANYO・MCO-18AIC	100	310W×2	仮設電源(103室)2/2台
環境試料タイムカプセル棟	1	103	薬用冷蔵庫	SANYO・MPR-414F	100	336/388W	仮設電源(103室)3
環境試料タイムカプセル棟	1	103	冷凍庫	日本フリーザー・CLN-35CW	200	1,240	仮設電源(103室)4
環境試料タイムカプセル棟	2	118		パナソニック・KM-DU73Y1J	200	1,110	仮設電源(118号室)1
環境試料タイムカプセル棟	2	118		パナソニック・KM-DU73Y1J	200	1,110	仮設電源(118号室)2
環境試料タイムカプセル棟	2	118		サンヨー・MDF-U33V	100	670	仮設電源(118号室)3
環境試料タイムカプセル棟	2	118		日本フリーザー・GS-5210HC	100	140/140W	仮設電源(118号室)4
環境試料タイムカプセル棟	2	118		ナショナル・NR-ME462U-S	100	180	仮設電源(118号室)5
環境試料タイムカプセル棟	2	118		PHCbi MDF-MU339H-PJ	100	230	仮設電源(118号室)6
環境試料タイムカプセル棟	2	118		日本フリーザー・KGF-4010HC	100	150/150W	仮設電源(118号室)7
環境試料タイムカプセル棟	2	118		日本フリーザー・FKVG-4110D	100	160/150W	仮設電源(118号室)8
環境試料タイムカプセル棟	2	118		日本フリーザー・UKS-5410DH	100	130/140W	仮設電源(118号室)9
環境試料タイムカプセル棟	1	103	冷蔵庫	Haier・JR-NF340A	100	200	仮設電源①
環境試料タイムカプセル棟	1	103	冷蔵庫	Haier・JR-NF340A	100	200	仮設電源②
環境試料タイムカプセル棟	1	104	フリーザー(-80℃)	パナソニック・KM-DU53Y1	三相200	1,150	仮設電源①
環境試料タイムカプセル棟	1	104	CO ₂ インキュベーター(2台)	MCO-18AIC	100	310W×2	仮設電源②③ 2台
環境試料タイムカプセル棟	1	104	ダイレクトヒート型CO ₂ マルチガスインキュベーター	ASTEC SMA-30D	100	400	仮設電源④
環境試料タイムカプセル棟	1	104	ダイレクトヒート型CO ₂ インキュベーター	ASTEC SCA-30D	100	400	仮設電源⑤
環境試料タイムカプセル棟	1	104	研究用保冷库	phcbi MPR-722R	100	490	仮設電源⑥
守衛所	1		照明、電気ストーブ		100	2,000	

グループ別 仮設電源要求箇所一覧 (想定)

施設名	階高	部屋番	仮設機器名	メーカー・型式	電圧	電力	備考
					(V)	(W)	
水環境保全再生研究ステーション							
実験管理棟	1	106	電話交換機		100	300	
バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロウ		100	50	配置図の①
バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロウ		100	200	配置図の②
バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロウ	試験浄化槽制御盤	三相200	1,300	配置図の②ポンプ(流調・循環・薬注)200V、
バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロウ		100	200	配置図の③
バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロウ	試験浄化槽制御盤	三相200	1,300	配置図の③ポンプ(流調・循環・薬注)200V、0.4kW(3台)
バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロウ		100	100	配置図の④
バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロウ		100	200	配置図の⑤
バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロウ	試験浄化槽制御盤	三相200	1,300	配置図の③ポンプ(流調・循環・薬注)200V、0.4kW(3台)
バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロウ ×2台		100	86	配置図の⑥ ブロウ2台(51W+35W)
バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロウ		100	100	配置図の⑦
バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロウ		100	32	配置図の⑧
バイオ・エコ実験施設	1	-	UPS	OMRON POWLI BU50SW	100	65	
バイオ・エコ実験施設	1	-	UPS	OMRON POWLI BU50SW	100	65	
バイオ・エコ実験施設	1	-	散気ブロウ	EcoMac120	100	86	
バイオ・エコ実験施設	1	-	散気ブロウ	EcoMac60	100	33	
バイオ・エコ実験施設	1	-	制御盤 センサー付き		100	100	
バイオ・エコ実験施設	1	-	制御盤 センサー付き		100	100	
バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロウ	FP-60 テクノ高槻 60L/min)	100	39	浄化槽CXP-5
バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロウ	FP-60 テクノ高槻 60L/min)	100	39	浄化槽CXP-5
バイオ・エコ実験施設	1	-	ブロウ	XP-40(40L/min、テクノ高槻)	100	24	浄化槽CXP-5
バイオ・エコ実験施設	1	-	浄化槽用ブロウ	ecoMAC60	100	33	
バイオ・エコ実験施設	1	-	処理水用冷蔵庫		100	60	
バイオ・エコ実験施設	1	-	UPS	オムロンPOWLI U50SW	100	350	
バイオ・エコ実験施設	1	-	浄化槽用ブロウ ×3台	EcoMAC60 ×3台	100	99	3台
バイオ・エコ実験施設	1	-	浄化槽用ブロウ ×3台	EcoMAC30 ×3台	100	60	3台
バイオ・エコ実験施設	1	-	処理水用冷蔵庫 ×2台	2台	100	120	2台
バイオ・エコ実験施設	1	-	遠隔監視装置	DLS-300-KL	100	10	平均2.4VA以下
バイオ・エコ実験施設	1	-	UPS	オムロンBA75T	100	600	
バイオ・エコ実験施設	1	-	濁度センサー ×2台	OPTEX TC-100 ×2台	100	40	2台分
バイオ・エコ実験施設	1	-	ORPセンサー ×2台	2台	100	40	2台分
バイオ・エコ実験施設	1	-	制御盤		100	100	
バイオ・エコ実験施設	1	-	ガスアナライザー	VA-5000	100	350	
バイオ・エコ実験施設	1	-	サンプリングユニット	VS-5000	100	150	
バイオ・エコ実験施設	1	-	インキュベーター	EYELA-LTI1001ED	100	1,900	配置図の①
バイオ・エコ実験施設	1	-	インキュベーター	サンヨー・MIR-553	100	322	配置図の②
バイオ・エコ実験施設	1	-	インキュベーター	サンヨー・MIR-553	100	322	配置図の③

ドライアイス申込一覧（想定）

※ 本部は、グループ停電日に該当するもの対応となります。

※ 最小単位は、フレーク形状 10kgです。ブロック形状は 1kgです。

整番	施設名	階高	部屋番号	種類(形状)	数量(kg)	備考
1	研究本館Ⅲ	2	281	ブロック	20	
2	研究本館Ⅲ	1	181	ブロック	10	
3	大気化学実験棟	1	H103/H105	ブロック	25	
4	循環・廃棄物研究棟	2	293	ブロック	10	
5	循環・廃棄物研究棟	2	282	ブロック	10	
6	循環・廃棄物研究棟	1	189	ブロック	20	
7	研究第1棟	2	208	ブロック	15	
8	大気共同実験棟	1	102	ブロック	20	
9	研究第1棟	2	206	ブロック	15	
10	研究第1棟	1	122	ブロック	15	
11	大気汚染質実験棟	5	501	ブロック	10	
12	水環境実験施設	3	303	ブロック	50	
13	循環・廃棄物研究棟	1	187	ブロック	7	
14	循環・廃棄物研究棟	1	189	ブロック	3	
15	循環・廃棄物研究棟	1	191	ブロック	4	
16	野生動物検疫施設	1	—	ブロック	50	
17	環境試料タイムカプセル棟	1	104	ブロック	20	
18	環境試料タイムカプセル棟	1	103	ブロック	60	
19	共同研究棟	2	271	ブロック	45	
20	共同利用棟	1	166-1	ブロック	10	
21	生態系実験施設	2	203	ブロック	30	
24	研究本館Ⅲ	2	289	ブロック	5	
25	研究本館Ⅲ	2	288	ブロック	10	
26	研究本館Ⅲ	2	287	ブロック	10	
27	研究本館Ⅲ	2	286	ブロック	10	
28	土壌環境実験棟	3	303	フレーク	10	
29	土壌環境実験棟	3	303	ブロック	40	
30	研究本館Ⅲ	2	295	ブロック	15	ディープフリーザー
31	共同研究棟(研究本館Ⅱ)	3	339	ブロック	15	フリーザー, 冷蔵庫
32	大気モニター棟	1	102	ブロック	10	フリーザー, 冷蔵庫
33	地球温暖化研究棟	1	—	ブロック	10	フリーザー超低温槽 日本フリーザー・CL-322U
34	地球温暖化研究棟	1	—	ブロック	10	フリーザー超低温槽 日本フリーザー・CLN-30U
35	地球温暖化研究棟	1	—	フレーク	10	冷凍冷蔵庫 ナショナル・NR-B122J-S

整番	施設名	階高	部屋番号	種類(形状)	数量(kg)	備考
36	環境保健研究棟	1	114	ブロック	40	
37	環境保健研究棟	1	106	ブロック	10	
38	循環・廃棄物研究棟	1	189	ブロック	5	
39	循環・廃棄物研究棟	1	185	ブロック	30	
40	研究第2棟	3	318	ブロック	20	
41	循環・廃棄物研究棟	1	186	ブロック	30	15kg×2 超低温冷凍庫2台分
42	環境リスク研究棟	2	203	ブロック	30	5kg×6 超低温冷凍庫2台分
43	環境リスク研究棟	2	204	ブロック	15	5kg×3 超低温冷凍庫1台分
44	環境リスク研究棟	2	207	ブロック	25	超低温冷凍庫1台分
45	研究第1棟	2	207	ブロック	1	
46	環境遺伝子棟	1	103	ブロック	13	
47	環境遺伝子棟	1	106	ブロック	110	
48	環境遺伝子棟	1	108	ブロック	14	
49	環境遺伝子棟	1	109	ブロック	60	
50	環境遺伝子棟	1	110	ブロック	15	
51	環境遺伝子棟	1	116	ブロック	40	
52	環境保健研究棟	2	205	ブロック	20	左から1番目の冷凍庫
53	環境保健研究棟	2	205	ブロック	20	左から2番目の冷凍庫
54	環境保健研究棟	2	205	ブロック	20	左から3番目の冷凍庫
55	環境保健研究棟	2	205	ブロック	20	左から41番目の冷蔵庫
56	大気汚染質実験棟	6	601	ブロック	20	冷凍庫用
57	水環境実験施設	1	109	ブロック	10	
58	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	—	ブロック	10	冷蔵庫サンヨーMPR-513
59	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	—	ブロック	20	フリーザー(Panasonic KM- MU28H1J) 冷蔵庫(SANYO MPR-312D)
60	水環境保全再生研究 ステーション バイオ・エコ実験施設	1	—	フレーク	20	
61	アクアトロン	1	106	ブロック	20	
62	RI棟	2		ブロック	44	
63	環境リスク研究棟	1	117	ブロック	15	
64	環境リスク研究棟	1	111	ブロック	20	
65	環境リスク研究棟	1	112	ブロック	5	
66	環境リスク研究棟	1	116	ブロック	15	
67	環境リスク研究棟	1	113	ブロック	15	
68	環境リスク研究棟	2	218	ブロック	20	
69	環境リスク研究棟	4	422	ブロック	50	

グループ別ドライアイス申込一覧（想定）

施設名	棟毎計(Kg)			ドライアイス		部屋番	備考
	ブロック	フレーク	合計	種類	数量(kg)		
グループ1(全館停電) 配付分							
地球温暖化研究棟	20	10	30	ブロック	10	—	
				ブロック	10	—	
				フレーク	10	—	
大気汚染質実験棟	30	0	30	ブロック	10	501	
				ブロック	20	601	
大気共同実験棟	20	0	20	ブロック	20	102	
大気化学実験棟	25	0	25	ブロック	25	H103,H106	
研究第1棟	46	0	46	ブロック	15	122	
				ブロック	15	206	
				ブロック	15	208	5kgx3 希望
				ブロック	1	207	
研究第2棟	20	0	20	ブロック	20	318	
共同利用棟	10	0	10	ブロック	10	166-1	
共同研究棟	60	0	60	ブロック	45	271	
				ブロック	15	339	
研究本館Ⅲ	80	0	80	ブロック	10	181	
				ブロック	20	281	
				ブロック	5	289	
				ブロック	10	288	
				ブロック	10	287	
				ブロック	10	286	
				ブロック	15	295	
循環・廃棄物研究棟	119	0	119	ブロック	30	185	
				ブロック	30	186	15kg×2 超低温冷凍庫2台分
				ブロック	7	187	
				ブロック	3	189	
				ブロック	4	191	
				ブロック	5	189	

施設名	棟毎計(Kg)			ドライアイス		部屋番	備考
	ブロック	フレーク	合計	種類	数量(kg)		
				ブロック	20		
				ブロック	10	282	
				ブロック	10	293	
土壌環境実験棟	40	10	50	フレーク	10	303	
				ブロック	40	303	
環境試料 タイムカプセル棟	80	0	80	ブロック	60	103	
				ブロック	20	104	
野生動物検疫施設	50	0	50	ブロック	50	—	
水環境実験施設	80	0	80	ブロック	20	106	
				ブロック	10	109	
				ブロック	50	303	
大気モニター棟	10	0	10	ブロック	10	102	

施設名	棟毎計(Kg)			ドライアイス		部屋番	備考
	ブロック	フレーク	合計	種類	数量(kg)		
本部	2,622	40	2,662				
水環境保全再生研究 ステーション	30	20	50				
合計(kg)	2,652	60	2,712				

仮設発電機一覧表 (想定)

別紙 6

グループ	施設名	単相発電機	三相発電機	備考
1	共通設備棟	単相 3線 45kVA		
	ポンプ棟		三相200V 60kVA	
	動物実験棟 I・中動物	単相 3線 45kVA		
	ナノ粒子健康影響実験棟	単相 3線 25kVA	三相200V 60kVA	
	生物環境調節実験施設	単相 3線 45kVA	三相200V 60kVA	
	水環境実験施設	単相 3線 45kVA		
	環境放射線研究施設	単相 3線 25kVA	三相200V 60kVA	
	R I 棟	単相 3線 25kVA		
	環境遺伝子工学実験棟	単相 3線 25kVA	三相200V 13kVA	
	震災放射線影響実験棟			
	土壌環境実験棟	単相 3線 25kVA	三相200V 13kVA	
	厚生棟		三相200V 25kVA	
	情報棟	単相 3線 100kVA	三相200V 60kVA	
	計測棟	単相 3線 25kVA	三相200V 13kVA	
	地球温暖化研究棟		三相200V 13kVA	
	地球温暖化研究棟 (増築部)	単相 3線 100kVA	三相200V 60kVA	
	生態系実験施設・環境保健研究棟	単相 3線 25kVA	三相200V 75kVA	
	水質水理実験棟	単相 3線 45kVA		
	環境生物保存棟	単相 3線 45kVA	三相200V 100kVA	
	研究第 2 棟	単相 3線 60kVA	三相200V 25kVA	
環境リスク研究棟	単相 3線 60kVA	三相200V 13kVA		
研究本館Ⅲ	単相 3線 25kVA	三相200V 13kVA		
守衛所	単相 3線 13kVA			
大気共同実験棟 (外部プレハブ)	単相 3線 13kVA			
循環・廃棄物研究棟	単相 3線 25kVA	三相200V 45kVA		
予備用発電機 (マルチ出力型)	単相三相200V 100kVA	単相三相200V 150kVA		

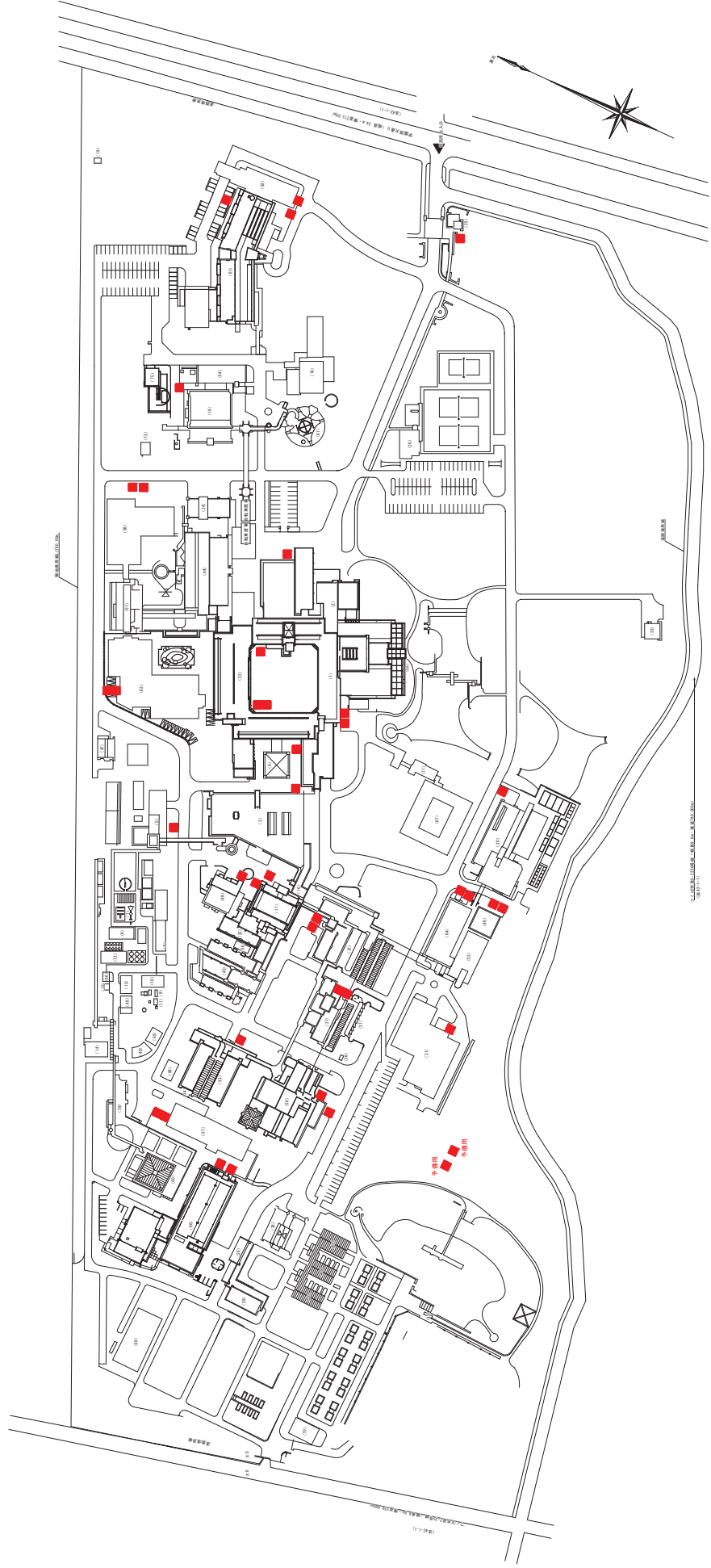
仮設発電機一覧表 (想定)

別紙 6

グループ	施設名	単相発電機	三相発電機	備考
2	R1棟	単相3線 25kVA		
	環境遺伝子工学実験棟	単相3線 25kVA	三相200V 13kVA	
	震災放射線影響実験棟			
	土壌環境実験棟	単相3線 25kVA	三相200V 13kVA	
	予備用発電機 (マルチ出力型)		単相三相200V 25kVA	
3	厚生棟		三相200V 25kVA	
	情報棟	単相3線 100kVA	三相200V 60kVA	
	計測棟	単相3線 25kVA	三相200V 13kVA	
	地球温暖化研究棟		三相200V 13kVA	
	地球温暖化研究棟 (増築部)	単相3線 100kVA	三相200V 60kVA	
	予備用発電機 (マルチ出力型)		単相三相200V 100kVA	
4	生態系実験施設・環境保健研究棟	単相3線 25kVA	三相200V 75kVA	
	水質水理実験棟	単相3線 45kVA		
	環境生物保存棟	単相3線 45kVA	三相200V 100kVA	
	予備用発電機 (マルチ出力型)		単相三相200V 100kVA	
5	研究第2棟	単相3線 60kVA	三相200V 25kVA	
	環境リスク研究棟	単相3線 60kVA	三相200V 13kVA	
	予備用発電機 (マルチ出力型)		単相三相200V 60kVA	
6	研究本館Ⅲ	単相3線 25kVA	三相200V 13kVA	
	守衛所	単相3線 13kVA		
	大気共同実験棟 (外部プレハブ)	単相3線 13kVA		
	循環・廃棄物研究棟	単相3線 25kVA	三相200V 45kVA	
	予備用発電機 (マルチ出力型)		単相三相200V 150kVA	
水環境保全再生研究ステーション	実験管理棟	単相3線 13kVA		
	バイオ・エコエンジニアリング実験施設	単相3線 45kVA		
	予備用発電機 (マルチ出力型)		単相三相200V 45kVA	
	合計	39台	37台	全76台

国立環境研究所 本部 仮設発電機配置図 (例)

グループ 1 (全館停電日) 対応の一例



国立環境研究所 水環境保全再生研究ステーション

仮設発電機配置図 (例)

